

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会
開催予定施設整備基本構想(案)

桜井市
令和8年9月

第 1 章	基本構想策定の背景と目的	1
(1)	基本構想策定の背景と目的	1
(2)	基本構想の位置づけ	1
第 2 章	開催予定施設の現況等	2
(1)	開催予定施設の概要	2
(2)	施設の管理運営の状況	5
(3)	桜井市の主な関連計画	9
第 3 章	国スポ等開催施設の整備基準及び整備事例調査	13
(1)	競技施設基準	13
(2)	整備事例	15
第 4 章	中央競技団体正規視察における指摘・要望事項	26
(1)	正規視察の実施概要	26
(2)	指摘事項及び要望事項	27
第 5 章	現況把握に基づく開催施設としての問題点・課題の整理	28
(1)	対象施設全体	28
(2)	運動場	29
(3)	総合体育館	30
第 6 章	駐車場計画及び敷地内車道・歩道動線とバリアフリー対応の検討	32
(1)	駐車場の現状	32
(2)	先催地の状況	32
(3)	必要となる駐車場の想定	33
(4)	駐車場計画の検討	33
(5)	車道・歩道動線の検討	33
(6)	バリアフリー対応の検討	35
第 7 章	改修計画内容の検討	36
(1)	施設整備方針	36
(2)	導入する機能の整理	37
(3)	具体的な改修事項等の整理	38
(4)	ゾーニング	40
(5)	国スポ競技開催会場計画平面図	41
第 8 章	事業の進め方検討	48
(1)	事業手法の検討	48
(2)	事業スケジュールの検討	48

※全国障害者スポーツ大会は、令和 13 年に奈良県で開催される大会から「全国パラスポーツ大会」に名称が変更されるため、本基本構想では「第 30 回全国障害者スポーツ大会」を「第 30 回全国パラスポーツ大会」と記載する。

第1章 基本構想策定の背景と目的

(1) 基本構想策定の背景と目的

本市では、令和13年に奈良県において開催予定の第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会（以下「国スポ等」という。）のうち、国民スポーツ大会では、ソフトボールの成年女子と卓球の全種別の開催を予定している。

本市所有の芝運動公園運動場及び総合体育館は、国スポ等の競技開催予定施設であるが、施設の老朽化が進んでいる状態であり、安心・安全な大会運営を実現するためには、両施設の課題を解消する改修が必要である。加えて、令和7年度に実施された中央競技団体による正規視察を踏まえた対応も行う必要がある。

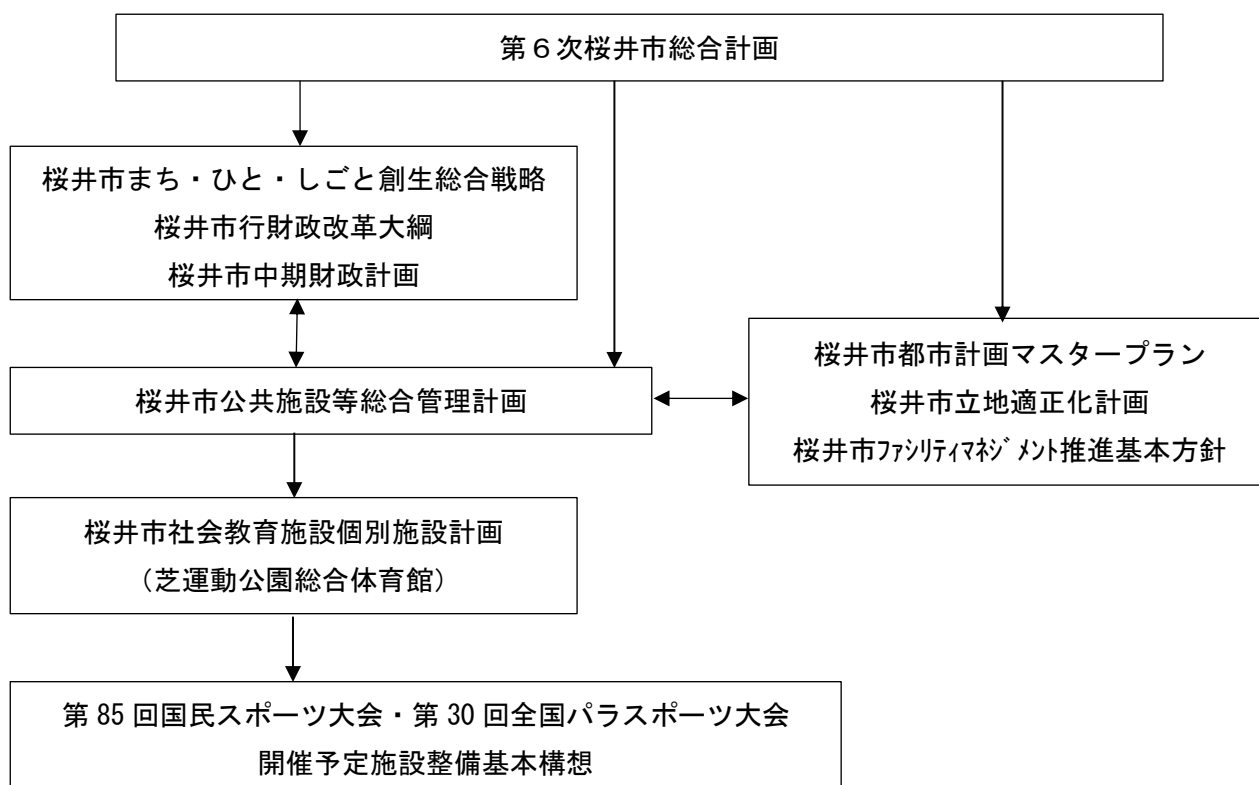
また、本市の財政負担とのバランスを考慮しつつ、施設整備や大会運営の効率化を図るため「コンパクトな大会」をコンセプトとして実施していく必要がある。

これらのことから、国スポ等の開催にあたり、中央競技団体の指摘や要望、令和6年3月に策定した桜井市社会教育施設個別施設計画（芝運動公園総合体育館）を踏まえ、本市にふさわしい「コンパクトな大会」の実現に向けて、施設整備に係る基本構想の策定を行うものである。

(2) 基本構想の位置づけ

本構想は、本市の主な上位関連計画に基づき、また整合をとりながら策定するものである。

【 基本構想の位置づけ 】



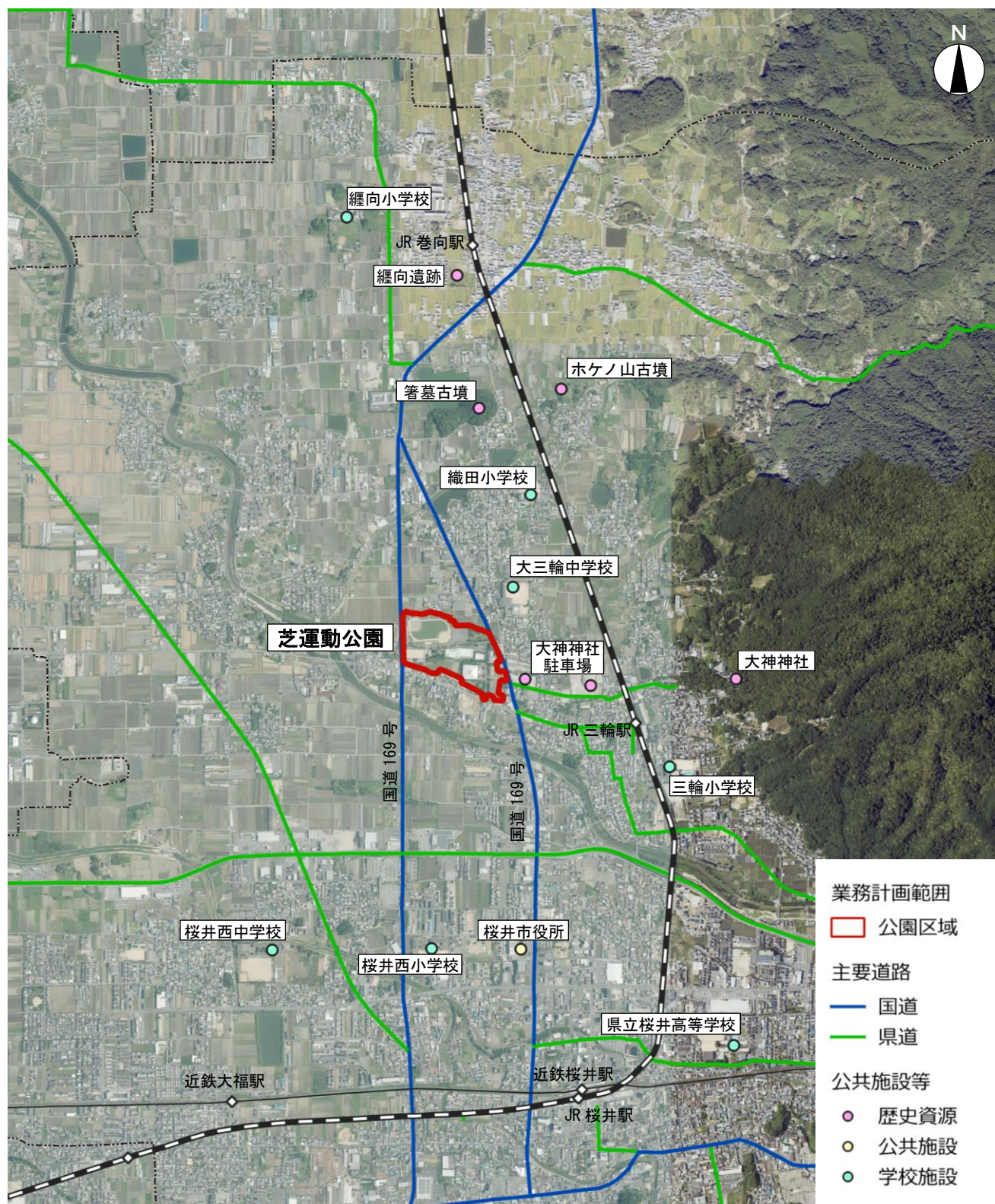
第2章 開催予定施設の現況等

(1) 開催予定施設の概要

① 施設の位置及び周辺環境

開催予定施設である芝運動公園運動場及び総合体育館は、市域の西側の市街地に位置し、近接して東側に大神神社、北側には箸墓古墳や纏向遺跡等、全国に広く知られている歴史的資源が点在している。

また、交通アクセスとしては国道169号に接しており、最寄り駅であるJR万葉まほろば線三輪駅との距離は約0.8km、桜井駅は約2.5kmとなっている。公共施設としては、南に約1kmの位置に桜井市役所が立地し、大三輪中学校や三輪小学校等の教育施設も立地している。



② 施設全図

成年女子ソフトボールの競技会場となる芝運動公園運動場（以下「運動場」という。）は公園の北西に位置しており、卓球の競技会場となる芝運動公園総合体育館（以下「総合体育館」という。）は南東側に位置している。



③ 芝運動公園運動場の概要

所在地：桜井市大字芝地内

竣工年月：昭和 46 年 9 月

面積：約 18,000 m²

施設内容：陸上 400mトラック、野球（ソフトボール）2 面、夜間照明施設有り

開催競技：ソフトボール（成年女子）



④ 芝運動公園総合体育館の概要

所在地：桜井市大字三輪元馬場方 686 番地 他

竣工年月：昭和 58 年 5 月

面積：＜建築面積＞4,568.87 m²

＜床面積＞5,740.19 m²（1 階 3,766.23 m²、2 階 1,973.96 m²）

施設内容：＜コート配置＞バレーボール 3 面、バスケットボール 2 面、テニス 2 面、
バドミントン 12 面、観客席数固定席 514 席

内部施設：柔道場 1 面、剣道場 1 面、トレーニング室、会議室、更衣室、シャワー室、放送室、
事務室、器具庫等

開催競技：卓球（全種別）



(2) 施設の管理運営の状況

① 施設の管理・運営

運動場、総合体育館の管理運営には指定管理者制度が導入されており、現在は「公益財団法人桜井市体育協会」が指定管理者として施設の管理・運営を行っている。

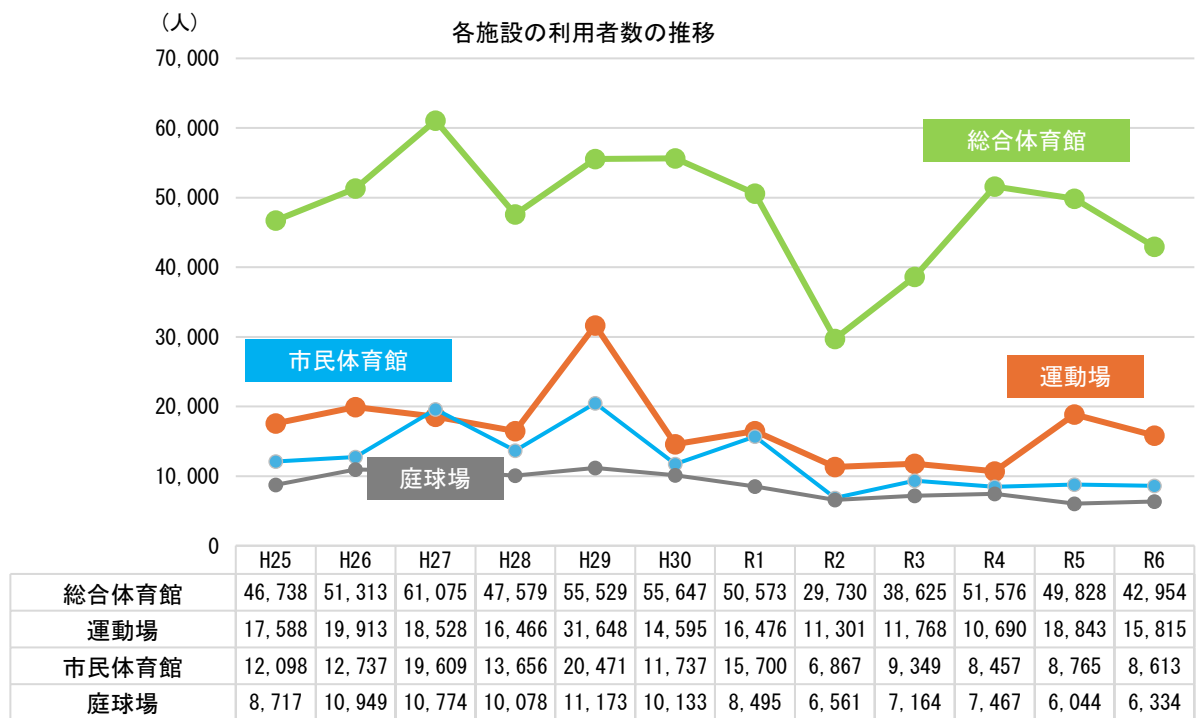
直近の指定管理期間は、市の公募を経て令和7年(2025年)4月1日から令和12年(2030年)3月31日までの5年間となっている。芝運動公園内では、市民体育館や庭球場についても包括的に同法人が指定管理者制度に基づき管理を行っている。

② 施設の利用状況

1) 利用人数

施設の利用人数は、有料利用のみの集計であるが、運動場については、コロナ期等を除くと例年1.8万人前後で推移している。

総合体育館については、同施設もコロナ期等を除くと4~6万人程度で推移している。

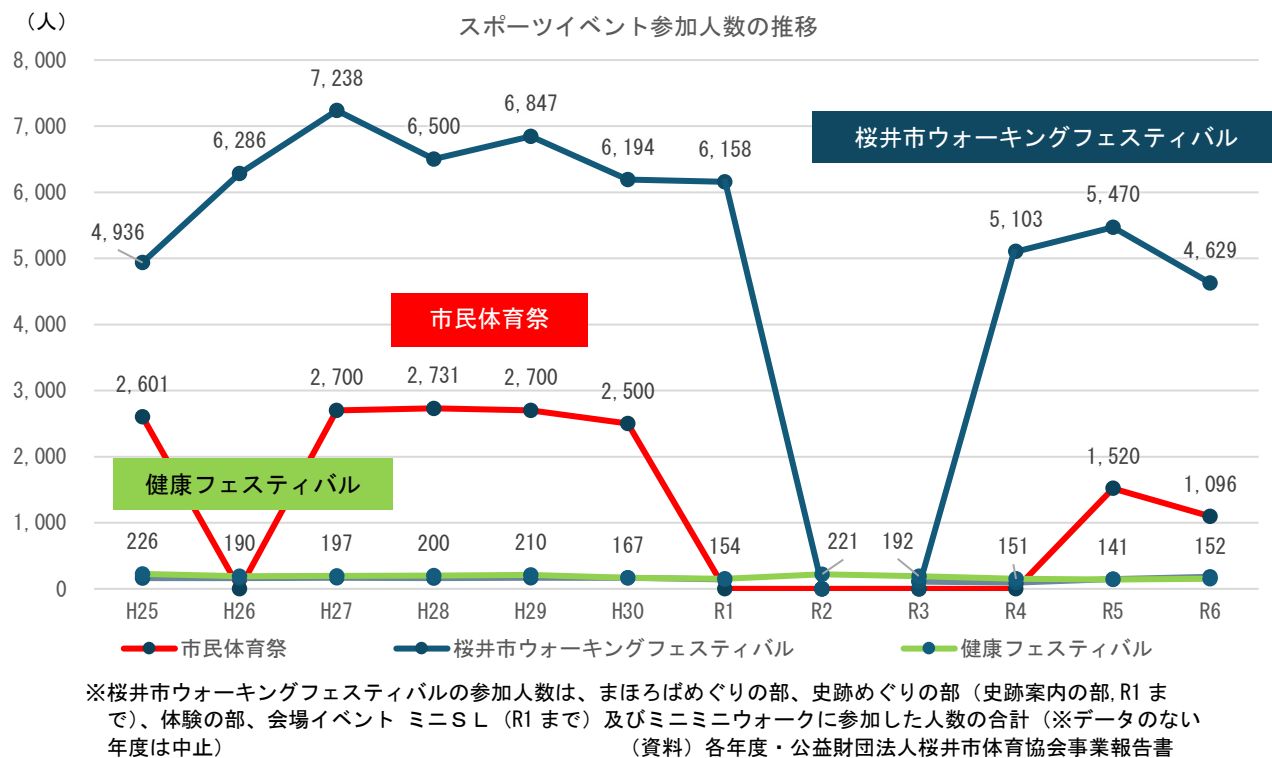


※市体育施設等の指定管理施設利用状況（有料利用のみ）
資料：各年度 公益財団法人桜井市体育協会事業報告書

2) 施設の主な利用内容

当該施設を会場としたスポーツイベントとして、各種市民体育大会（運動場・総合体育館）、市民体育祭（運動場・総合体育館）、桜井市ウォーキングフェスティバル（運動場）、健康フェスティバル（総合体育館等）等が開催されており、参加人数は桜井市ウォーキングフェスティバルが最も多いものの、市民体育祭とともに社会情勢や少子化の影響により、参加人数は減少傾向にある。

また、利用されている主な競技種別としては、運動場は、軟式野球、ソフトボール、サッカー等で、総合体育館は、バレーボール、バドミントン、卓球、柔道、剣道等となっている。



③ 指定管理者へのヒアリング結果

1) 実施概要

日程	令和 8 年 2 月 5 日（金）
場所	総合体育館
出席者	公益財団法人桜井市体育協会、桜井市、（株）地域計画建築研究所
ヒアリング項目	・施設の利用状況 ・施設の劣化状況、不具合の状況、施設運営上の問題点や課題 ・その他

2) ヒアリング内容

【施設の利用状況】

＜総合体育館＞

- ・桜井市体育協会加盟の競技団体が通常活動で総合体育館を利用。
- ・スポーツ教室は、体育協会が運営している総合型地域スポーツクラブと加盟団体が行っているものがあり、ジュニアと一般合わせて 45 程度の教室を実施。
- ・午前・午後は高齢者、夕方から夜は子ども、一般の利用が多い。
- ・総合体育館全体で「利用ゼロ」の日ほとんどない。
- ・バスケットボールゴールは移動式のみを使用。
- ・会議室は大会の控室等の利用が中心で、スポーツ以外の利用の問い合わせは少ないが、大会等開催の際、会議室がもう少しほしいとの意見を聞くことがある。
- ・シャワー室は、温水が使用できるのは 1 か所のため、利用頻度は低い。
- ・多目的トイレは設備が古く、近年のニーズには応えきれしていない。
- ・1 階車いす席を使うことは少ない。エレベーターがないため、人力で車いすを 2 階に運んだこともあるが、2 階には車いす席はない。

- ・観覧席は高校生の大会等があれば利用。満席で立ち見の大会等もある。

＜運動場＞

- ・土日の利用が中心で、子どもの大会等が中心となっている。ナイター利用は週 2～3 回で、主に子どものサッカー教室である。
- ・野球の利用は、成人のチーム数減少もあり減少傾向である。（ナイター利用含む）
- ・少年サッカーの利用では、コート 2 面が確保可能だが、グラウンド面が芝生と土の箇所を使うことになるため、公式戦では使うことができず、練習のみの利用となっている。
- ・野球・ソフトボールは大会利用あり。飛球の関係上、硬式野球は使用禁止としている。
- ・年 1 回の市民体育祭で陸上トラックを使うが、通常の陸上競技での使用頻度は低い。
- ・西側グラウンドのスタンド下には諸室があり、競技団体の利用や倉庫として活用している。
- ・観客席が満席になることは少ない。

＜その他＞

- ・駐車場は、大会によって満車になることもある。
- ・テニスコート側の公園には遊具があり、子ども連れの利用がある。

【施設の劣化状況、不具合の状況、施設運営上の問題点や課題】

＜総合体育館＞

- ・空調がないため、夏・冬の利用が厳しく、大きな大会が他地域へ流出している。
- ・アリーナ部の照明は来夏に LED に交換予定。（令和 8 年 7 月に交換済み）
- ・剣道場からの雨漏りがあり、剣道場の西側通路も雨漏りで床がひび割れしている。
- ・アリーナの床全体に傷みがみられる。
- ・体育館の外壁は、レンガ等に浮きがみられる他、諸室の壁紙が剥がれている箇所がある。
- ・建物の構造上、窓の掃除が難しく、汚れが目立つ。
- ・樋が屋根の内側にあり、雨水が中に入ってくる。落ち葉が詰まれば業者に清掃を頼む必要がある。
- ・衛生設備について、給湯器等は老朽化しており更新が必要である。
- ・放送設備について、ワイヤレスマイクは感度が悪い。
- ・エレベーターがなく、車いすが 2 階に行くのは困難。
- ・事務所の受付カウンターの高さが高いとの指摘を受けたことがある。
- ・防犯カメラは屋内 4 箇所に設置しているが録画は不可である。屋外には設置なし。緊急放送設備は整備当初から更新していない。

＜運動場＞

- ・グラウンドは水はけが悪く、水がたまることもある。細かい石が地上に出ている箇所もある。周囲の側溝に砂が流出している。
- ・照明が切れているところがあり、暗いとの指摘がある。
- ・グラウンド内の芝生は起伏等があり、転圧レベルでは修正が難しい。
- ・放送設備は西側スタンド下の放送室に設置されているが、配線の傷み等もあり、音が途切れることがある。外部有線と接続可能だが、スピーカーも古い。
- ・照明設備は東西別の運用で、コイン式である。1 機ずつのコントロールはできない。

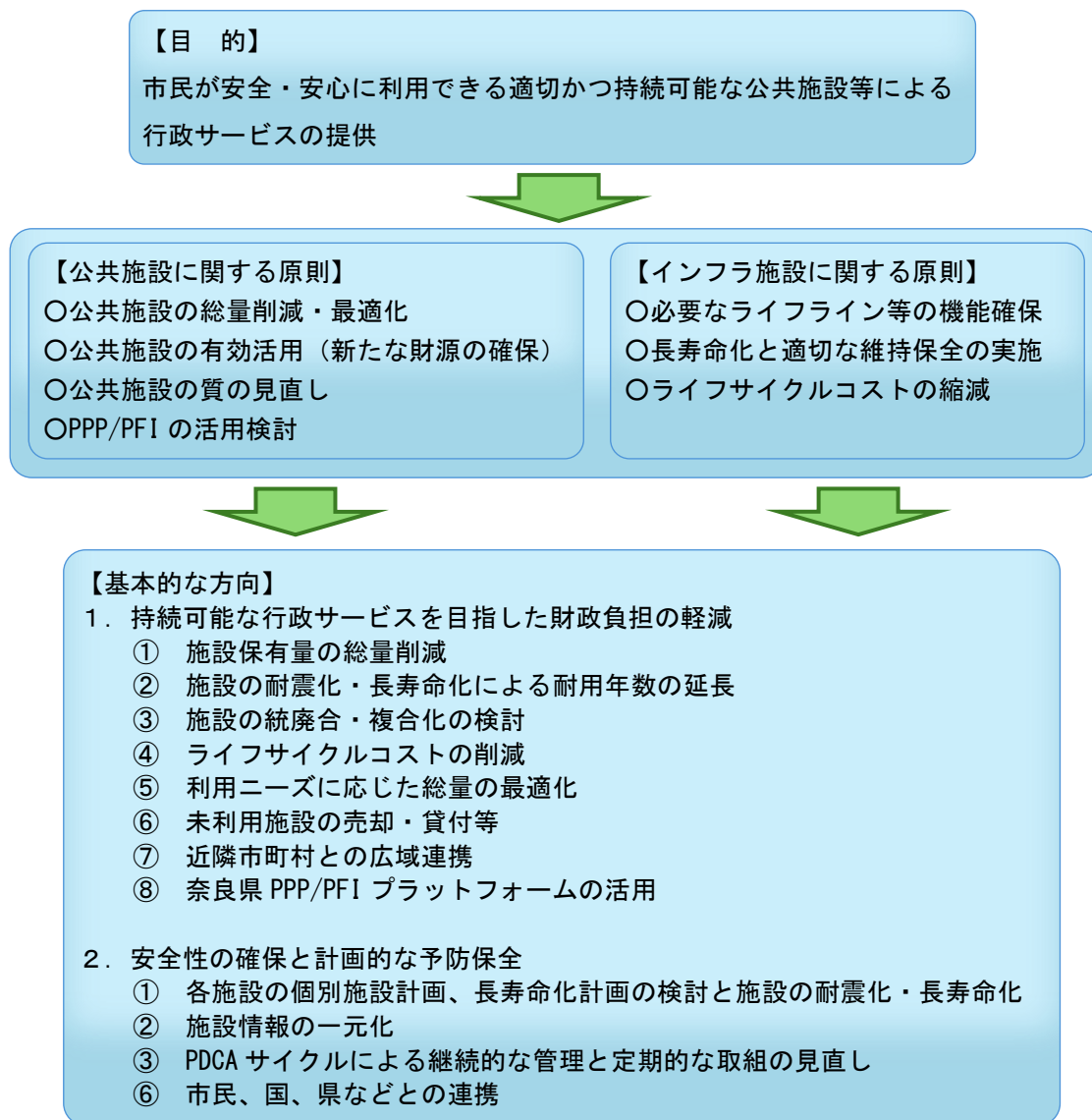
④ 法的条件

種別		概要
都市計画法等	用途地域	第1種住居地域
	容積率／建ぺい率	200％／60％ 15m高度地区
	風致地区	指定なし
	防火地域	指定なし
古都保存法		指定なし
農振法	農用地	指定なし
景観法	◆奈良県景観計画 ●桜井市景観計画	●広域幹線道路沿道景観地区 一定の規模を超える建築物の新築または移転、工作物の新設または移転、開発行為、土地の形質の変更、物件の堆積、駐車場の設置などの場合届け出を要する。景観に配慮した規模、高さ、形態及び意匠、緑化、行為の方法などに一定の配慮を要する。
文化財保護法	埋蔵文化財	上ツ道遺跡
森林法	保安林	指定なし
砂防法関連	砂防指定地	指定なし
	土砂災害 [特別]警戒区域	指定なし
	急傾斜地崩壊 危険区域・危険箇所	指定なし
	土石流危険渓流	指定なし
	地滑り危険箇所・防 止区域	指定なし
	自然公園区域指定地	指定なし
自然公園法		指定なし
都市公園法関連	建ぺい率	1.87％（上限2％）
	運動施設面積率	35.1％（上限50％）
その他	洪水ハザードマップ	〈桜井市〉 浸水想定区域 0.5m未満、0.5～3.0m未満エリア混在
	地域防災計画	・指定緊急避難場所（総合体育館：地震・洪水・土砂災害・大規模火災）（駐車場：地震・大規模火災） ・指定避難所（総合体育館：地震・洪水・土砂災害・大規模火災） →収容可能人数：1,090人 ・防災ヘリコプター等飛行場外離着陸場（芝運動公園） ・自衛隊災害活動用緊急飛行場外離着陸場

（３）桜井市の主な関連計画

① 桜井市公共施設等総合管理計画 改訂版（令和８年３月改訂）

１）公共施設等マネジメントの基本的な考え方



２）施設類型別の基本方針

■スポーツレクリエーション系施設	・令和 13 年に開催予定の国スガ等に向けて、競技施設や付帯設備の整備を検討する。 ・施設の効率的な管理運営方法を検討するとともに、実現可能な施設規模及び機能に関する検討を行い、配置やバランスを考慮したうえで適切な施設整備を図る。 ・老朽化が進んでいる施設については、人口減少など将来を見据え、施設保有量の削減に向けて検討を行う。 ・今後使用しない施設については、処分や利活用のあり方について検討する。
■公園	・公園基本計画に基づき、未供用である公園を中心に整備を進める。 ・全ての公園について、計画的な修繕・更新のあり方を検討する。 ・施設の効率的な管理運営方法を検討する。

② 桜井市社会教育施設個別施設計画（芝運動公園総合体育館）（令和6年3月）

1) 老朽化の状況

躯体の健全性	・新耐震基準に基づく建物 ・長寿命化は可能 ・改修を施しながら 70 年以上の長期にわたって使用できる建物	躯体以外の劣化状況	良好 劣化	・屋根屋上はD評価、早急に対応が必要 ・その他部位も冷暖房・換気設備以外は、C評価で広範囲に劣化 (参考：劣化状況カルテ（次頁）)	
				評価基準	
				A	概ね良好
				B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
				C	広範囲に劣化（安全上、機能上、低下の兆し）
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の健全性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている) 等				

2) 今後必要な対応

今後必要な機能回復	・建物の健全度：100点満点で現状40点 建物全体として各部が老朽化しており、実際に雨漏り等の不具合が生じているため、できるだけ早期に大規模な改修が必要 ・屋上防水で経年劣化が進んでおり、一部で漏水がみられるため早急な対応が必要である。 ・外壁では、吹付部のクラック、タイルの浮きがみられる。 ・アリーナ、剣道場、柔道場で、天井パネルが落下の危険性がある。特にアリーナでは一部が剥がれており、落下している箇所もある。 ・放送等のその他の電気設備や給排水衛生設備は、新築時に整備した設備機器がそのまま利用されている場合が多く、老朽化が進んでいる。 ・アリーナは冷暖房が整備されていない。換気ダクトやファンに錆が出ている。 ・老朽化に伴う不具合が全館で顕在化していることから、改修が広範囲に及ぶほか、車椅子観覧席はあるものの、そこまでの経路でバリアフリー対応ができていない。 ・観客席の椅子の間が狭いなど、使い勝手の面でも問題がある。 ・複数案でコスト比較を行ったうえで、施設の今後の方向性を検討する必要がある。
長寿命化に向けてのサイクルの考え方	・総合体育館は利用需要が高く、今後も長く使っていくべき建物である。 ・長期にわたって建物を使うためには、劣化する部位・設備に対して、状況に応じて修繕・改修を行う必要がある。 ・総合体育館は築40年超であり、長寿命化に向けては、各部位や設備の劣化状況調査を基に、まとめて実施すべき効率的な工事などを見極める必要がある。その上で、概ね20年周期で修繕・改修を定期的に行い、経年劣化に対する確実な機能回復を図る。さらに40年目頃に用途変更や環境性能の向上などの改善を図り、内部仕上げや設備の配管・配線を全面的に更新する大規模改修を行うことが望ましい。

3) 劣化状況カルテ

施設名	芝運動公園総合体育館			施設コード	—		調査日	2023年6月27日	
建物名	—			建物コード	—		記入者	(株)ファインコロレート研究所	
棟番号	—	建築年度	1983 年度 (昭和58 年度)			建築年数	築後 40 年		
構造種別	鉄筋コンクリート造		延床面積	5,735 m ²		階数	地上 2 階 地下 0 階		

部位	仕様 (該当する項目を「■」とする。複数選択可。 ()内及び空欄行には具体的な仕様名を記入)	改修履歴		評価	劣化状況 (複数回答可)	範囲	特記事項	総合 評価
		年度	経年					
1 屋根屋上	☐ アスファルト保護防水				■ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある ■ 保護層のひび割れ、目地の暴れ・欠損がある ■ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・腐朽・欠損がある ☐ 笠木・手摺等に錆、変形、浮き、亀裂等がある ☐ 既存点検等で指摘がある	広範囲	アスファルトシート防水に漏水あり ステンレス製大屋根は色褪せ(2009年 ジョイント部補修)、内樋から漏水	D
	■ アスファルト露出防水	1983	40	C		数か所		
	☐ シート防水					広範囲		
	☐ 塗膜防水					広範囲		
	■ 勾配屋根(長尺、折板)	2009	14	B				
	☐ 屋根(アスファルシングル、スレート、瓦類)							
	☐ その他屋根 ()							
2 外壁	■ 複層塗り ☐ モルタル下地	1983	40	C	☐ 剥落、浮き、爆裂、大きな亀裂がある ■ ひび割れ、錆汁がある ☐ 塗装の退色、膨れ、剥がれがある ■ タイルや石に剥がれ、浮き、亀裂がある ☐ 内部に外壁からの漏水がある ☐ 目地、建具周りのシーリングが劣化している ☐ 手すり等に錆、変形、浮き、亀裂等がある ■ 既存点検等で指摘がある		吹付部にクラック、レンガ タイルに浮きがみられる	C
	☐ 薄塗り(リシン等) ☐ モルタル下地					数か所		
	☐ 打放し							
	■ タイル、石張り	1983	40	C		広範囲		
	☐ 金属系パネル							
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)							
	☐ その他外壁 ()							
3 外部開口部	■ アルミ製サッシ+単板ガラス	1983	40	C	☐ 窓・ドアの開閉、施錠等に不具合がある ■ 窓・ドアに錆・腐食・変形・塗装の剥がれがある ☐ 窓・ドアの廻りに漏水がある ☐ 格子等の鉄部に錆・腐朽・ぐらつきがある ☐ 既存点検等で指摘がある		アルミサッシは汚れが目立つ スチールドアは塗装剥がれ	C
	☐ アルミ製サッシ+複層ガラス					広範囲		
	■ 鋼製サッシ	1983	40	C				
	☐ 防音サッシ							
	☐ その他開口部 ()							
4 内部仕上 (床・壁・天井・ 建具等)	☐ 全面的改修 ()				☐ 床仕上材に使用上の支障がある ■ 壁仕上材にひび割れ等の不具合がある ■ 天井に落下の危険がある ☐ 内部建具に開閉、施錠等に不具合がある ■ 保守点検等や行政庁から指摘がある		アリーナ、柔道場、剣道場の 天井材に落下の危険あり ロッカー室壁面にクラック 便器一部洋式	C
	■ トイレ改修 (便器の一部洋式化)	2020	3	B		数か所		
	☐ 非構造部材改修 ()					数か所		
	☐ 防火設備改修 ()							
	☐ その他改修 ()					数か所		
5 電気設備	■ 受変電設備 (キュービクル)	1983	40	C	☐ 機器の全面的な錆・腐食・破損等 ☐ 機器が頻繁に故障する ☐ プレーカーが時々落ちる ■ 保守点検等や行政庁から指摘がある ☐		アリーナ以外はLED交換済 外部幹線に高木がかかっている 放送設備老朽化	C
	■ 電力・電灯設備 (蛍光灯等)	1983	40	C				
	■ 通信設備 (館内放送)	1983	40	C				
	■ 防災設備 (火災報知)	1983	40	C				
	☐ その他 ()							
6 給排水 衛生設備	■ 給水設備 (直結)	1983	40	C	☐ 水質・水量等で使用に支障がある ☐ 機器が頻繁に故障(異音・漏水) ☐ 排水のつまりや臭い、蛇口からの錆水 ☐ ガス漏れ検査で異常指摘がある ☐ 保守点検等や行政庁から指摘がある		給湯は湯沸室のみ シャワーは冷水	C
	■ 給湯設備 (ガス瞬間湯沸し)	1983	40	C				
	■ 排水設備 (配管)	1983	40	C				
	■ 衛生設備 (和洋混合)	1983	40	C				
	■ ガス設備 (LPG)	1983	40	C				
	■ 消火設備 (屋内消火栓)	1983	40	C				
7 冷暖房 換気設備	☐ 中央方式	☐ 熱源設備()			☐ 通常の使用に支障がある ☐ 機器に異音・異臭・漏水がある ☐ ドレンのつまり等がある ☐ 保守点検等や行政庁から指摘がある		会議室、事務所等にはエア コン設置 床下換気へ発錆	B
		☐ 空調機器()						
		☐ ダクト・配管設備						
	■ 個別方式	■ パッケージ空調設備(EHP)	2007	16		B		
		■ その他(エアコン)	2007	16	B			
8 昇降機	☐				☐ 通常の使用に支障がある ☐ 保守点検等や行政庁から指摘がある			-
	☐							
9 外構及び 工作物	■ 床タイル ()	1983	40	C	☐		玄関前のタイル剥がれ、浮き	C
	☐ ()							
	☐ ()							
	☐ ()							
10 その他	☐ ()						健全度	40
	☐ ()							
	☐ ()							
	☐ ()							

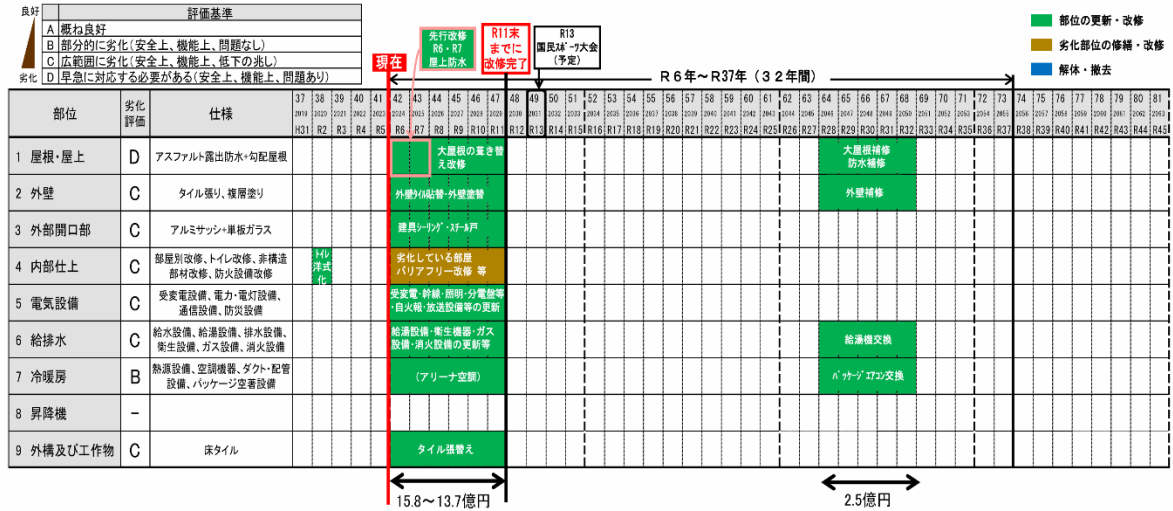
※各部位の総合評価は、改修履歴の評価、写真台帳の評価とは異なる場合があります。

健全度
40 / 100点

4) 今後の施設整備の方針

1	竣工から70年以上使用することを目標に、耐震安全性を確保し、計画的な予防保全を行うことで長寿命化を図る。
2	当面の施設需要に対して、安全で機能的に、利活用できるように修繕・改修を図る。
3	将来的な施設の機能や規模の見直し、及び施設の複合化・集約化に対応できる柔軟な計画とする。 複数のシミュレーションを行い今後の方向性を検討する。
4	他の公共施設の個別施設計画と横断的に検討するための情報の一元化を図る。
5	今後の施設の方向性・必要性に応じて、随時計画を見直す。

5) 長期修繕・改修計画

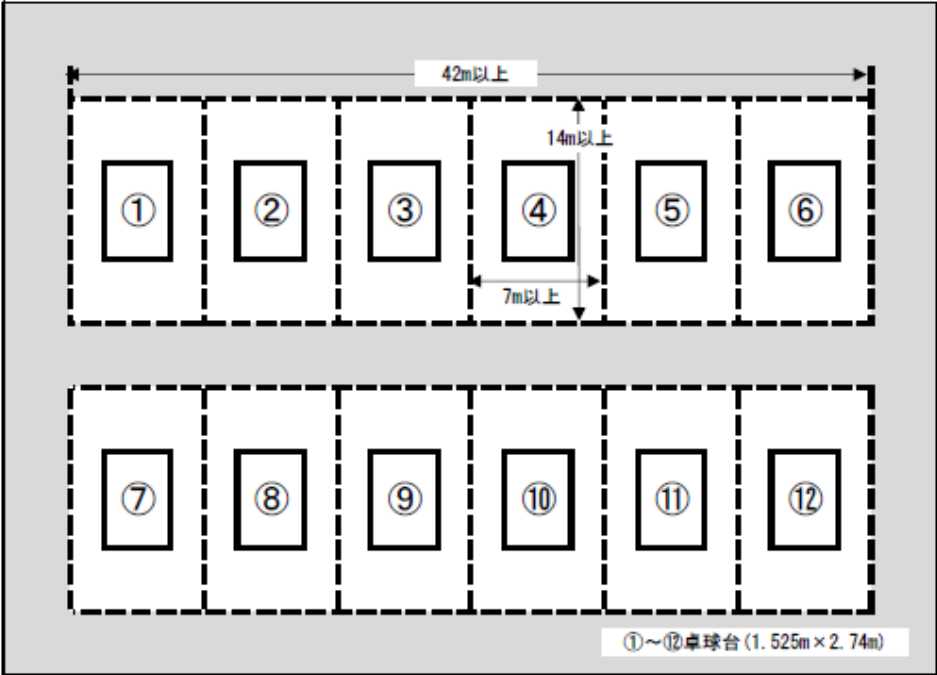


第 3 章 国スポ等開催施設の整備基準及び整備事例調査

(1) 競技施設基準

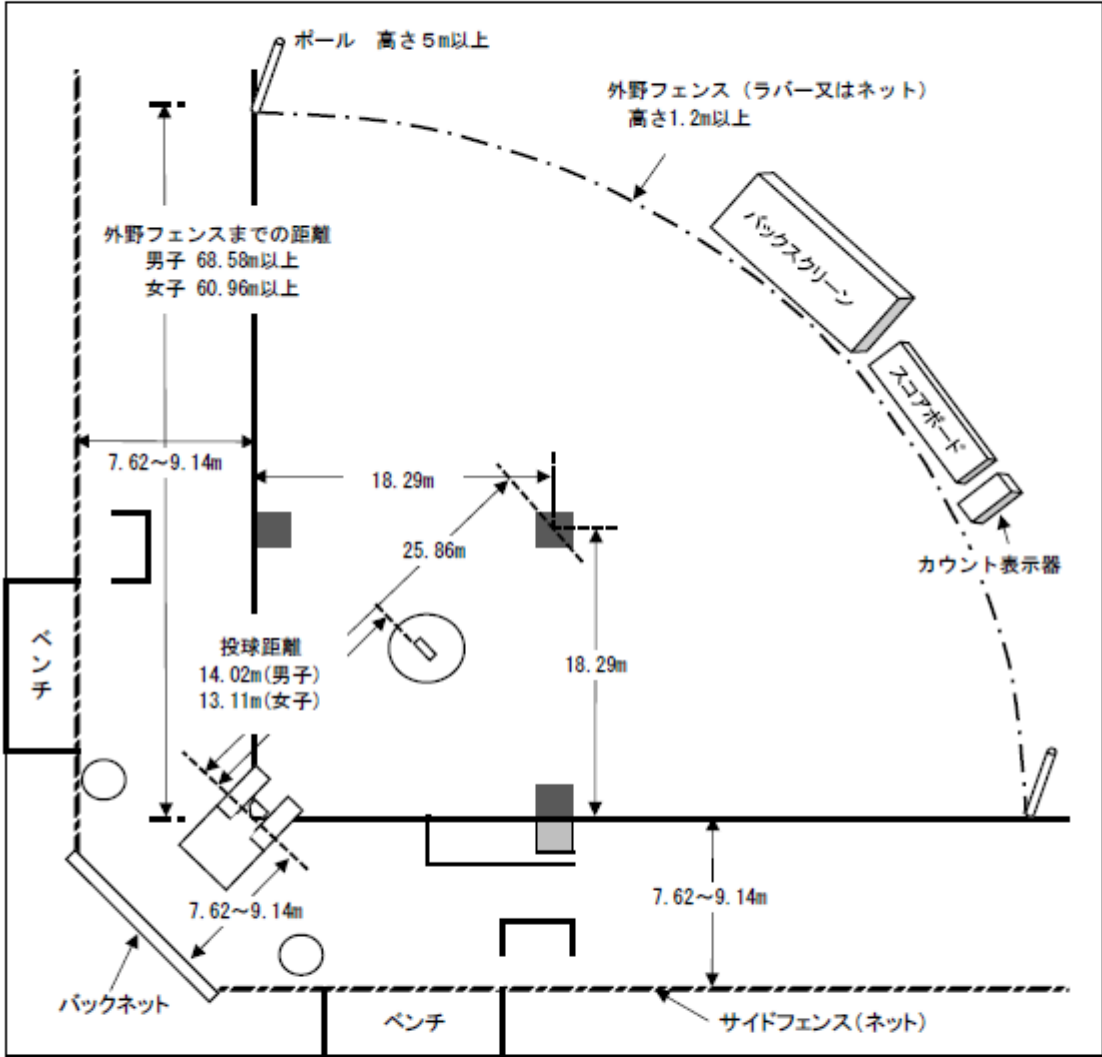
「第 85 回国民スポーツ大会競技施設基準」により、卓球、ソフトボール、それぞれの施設基準が示されている。

① 卓球

競技名	卓球	競技番号	17
基準	規定のコート12面(予備コート2面を含む)を設置することができる体育館1	摘要	2会場地に分離して開催する場合は、各体育館に、規定のコート8面設置する。
基準の主な内容			
規定のコートは次のとおり。			
			
・競技領域は、長さ14m、幅7m以上の長方形で、高さ5m以上なければならない。 ・競技領域は、隣接の競技領域と観戦席から、高さ75cmまたは50cmの均一な濃色の「フェンス」で区切られていなければならない。 ・プレーイングサーフェスの高さで計った照度は、プレーイングサーフェス全面にわたって1,000ルクス以上、競技領域のその他の部分における照度は500ルクス以上でなければならない。 ・照度源は、床上5m以上にしなければならない。 ・背景は全般的に濃色で、明るい照明源、または覆われていない窓を通す日光が含まれてはならない。 ・競技場の床は、明るい色、または明るく反射したり、滑りやすいものであってはならず、また、弾力のあるものでなければならない。			
〔(公財)日本卓球協会「日本卓球ルール」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

出典：第 85 回国民スポーツ大会競技施設基準：第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国パラスポーツ大会奈良県準備委員会

② ソフトボール

競技名	ソフトボール	競技番号	23
基準	規定の競技場8面	摘要	2会場地に分かれてもよい。
基準の主な内容			
規定の競技場は次のとおり。  ・競技場は平坦で、障害物のない地域であり、その上空空間も含む。 ・フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、男子68.58m以上、女子60.96m以上の半径の円弧に囲まれた地域である。 ・ファウル地域は、両ファウルラインの外側、および本塁とバックネットの間の地域である。 〔(公財)日本ソフトボール協会「オフィシャル・ソフトボール・ルール」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ・ナイター照明があることが望ましい。 ・成年男女の本塁から外野フェンスまでの距離は、成年男子76.20m以上、成年女子67.06m以上とする。 ・競技運営上、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子を単位として、最大4会場地とする。 ・競技運営上、原則種別ごとに1会場試合用2面とする。 (先催催の事例)			

出典：第85回国民スポーツ大会競技施設基準：第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会奈良県準備委員会

(2) 整備事例

① 先催地アンケート・ヒアリング

1) 実施概要（アンケート）

日程	令和7年11月下旬～12月
調査対象	直近10年以内の国スポ開催地 【卓球】 ・野洲市（滋賀県2025） ※他2自治体から回答なし 【ソフトボール】 ・高島市（滋賀県2025）、指宿市（鹿児島県2023）、常陸太田市（茨城県2019）、永平寺町（福井県2018）
調査方法	郵送による送付・返信
調査項目	競技会場（競技会場周辺おもてなし空間等含む）について ・施設整備の状況、運営において工夫した点・苦労した点 駐車場について ・確保した駐車台数、競技会場以外での駐車場活用の状況 国スポ・障スポ後の取組について ・国スポ等レガシーの取組

2) 実施概要（ヒアリング）

日程	令和8年1月
調査対象	【卓球】 ・野洲市（滋賀県2025） 【ソフトボール】 ・高島市（滋賀県2025）
調査項目	・アンケートの回答内容を基に各項目の詳細確認

3) 結果概要

先催地へのアンケート、ヒアリングにより、競技施設の整備や大会運営、駐車場対策、行幸啓・お成り対応等様々な知見を得ることができた。下記、関連項目別に施設整備・運営に活かすことができると考えられる内容について整理を行う。

ア) 卓球

項目		整備・運営に関連する内容
施設整備	会場	・アリーナ床について、競技団体からの指摘が想定されるため、劣化の改善が望ましい ・競技の特性上、外光の差し込みには細心の注意を払う必要があり、遮光ブラインドやカーテンの損傷箇所は修繕必須 ・国スポ開催を契機に市民利用の際の快適性向上にもつながる整備を行うことが多い（LED化、トイレ・シャワー等） ・障スポ開催を契機に施設のバリアフリー化（多目的トイレ、スロープ等）を進めることが多い
	空調	・競技の特性上、風には細心の注意を払う必要があり、競技会場の空調設備の検討が求められる（輻射熱式空調や客席とフロアが別系統の空調システム等） ・STT（サウンドテーブルテニス）会場では風に加え、音への配慮も必要な

項目		整備・運営に関連する内容
		ことから、静音性の高い空調の検討も必要
大会運営	国スポ	・ドーピング検査への対応が必要（専用トイレ、検査室等） ・練習会場として都道府県毎に卓球台が1台は必要。競技会場外で近隣の学校や公共施設を活用 ・会場内のウォーミングアップエリアには卓球台は設置しないほうがよい（全員分の準備は不可能なため）
	障スポ	・障スポの開催は県が主導。市町村は国スポ開催時の情報共有や当日の職員派遣が主な役割 ・STT会場では音に細心の注意を払う必要があり、会場及び観客席の設定や空調、周辺動線等、多岐にわたる検討が必要 ・選手は会場入退場の制限があるため、控室が必要（関係者も選手と一緒に食事ができるスペースがあるとよいが、1人椅子1席分を確保） ・障スポ開催時のほうが国スポよりも関係者（介助者、ボランティア等）が多く、そのためのスペースが必要
行幸啓・お成りへの対応	国スポ	・卓球は、ほぼ毎回行幸啓・お成りが行われる ・行幸啓・お成り対応費用の2/3が県補助対象 ・野洲市では行幸啓・お成り前日競技終了後にロイヤルボックスを設置。行幸啓・お成り当日競技終了後に撤去 ・到着予定15分前から選手を含む会場内の動線に制限がかかる。着席されると一度規制は解除。退場される15分前から再度制限開始 ・周辺の道路舗装や除草等（美装化）について県から協力依頼があった
その他	駐車場	・国スポでは選手・監督・役員用として300台を準備（先催地の実績から算出） ・障スポでも国スポと同台数を確保 ・障スポ開催時のほうが国スポよりも関係者（介助者、ボランティア等）が多く、選手以外の駐車台数の確保が必要
	おもてなし	・地域特産品販売や飲食の出店を募り、売店を設置 ・国スポでは先催地の実績や担当者の判断から弁当予約も多くないと予測し、市町村での予約発注をとりやめ、売店の利用を促したことで売店も賑わっていた ・国スポでは土産販売は芳しくなかった ・障スポは弁当が準備されるので飲食品の売り上げは芳しくなかった ・障スポ選手は団体行動のため、会場内売店で土産物販売が不足するほど盛況であった

イ) ソフトボール

項目		整備・運営に関連する内容
施設整備	会場	・石礫除去等地面のコンディションについては競技団体からの指摘が想定されるため、改善が望ましい（土の入れ替え等） ・ファールやホームランボールの飛球対策が必要な箇所には防球ネットが必要 ・1面はナイター設備が必須。一定の照度が求められるが、実際にナイター試合を実施することは少なく、必要となる機能について慎重に検討すべき ・国スポ開催を契機に市民利用の際の快適性向上にもつながる整備を行うことが多い（LED化、トイレ等） ・トイレは既存トイレ改修＋仮設対応の場合が多い ・障スポ開催を契機に施設のバリアフリー化（多目的トイレ、スロープ等）を進めることが多い
	観客席	・既存観客席＋仮設対応の場合が多い

項目		整備・運営に関連する内容
		・ リハーサル大会ではテント+ベンチで対応。本大会でも仮設スタンドでなく、テント+ベンチの会場もある
大会運営	国スポ	・ 10月にも関わらず近年は高温の日が多いため、熱中症対策として休憩テントの増設等 ・ 成年女子はドーピング検査の対象となることが多く、検査室確保等対応が必要（専用トイレ、検査室等）
	障スポ	・ 障スポの開催は県が主導。市町村は国スポ開催時の情報共有や当日の職員派遣が主な役割
その他	駐車場	・ 国スポでは選手・監督・役員用として250～700台を想定し、確保した。（先催地の実績と選手団のバス台数から算出） ・ 障スポでも国スポと同台数を確保 ・ 団体競技のためバス移動がメイン。バス台数により必要駐車台数は把握が容易
	おもてなし	・ 市特産品販売や飲食を市町村で公募の上、売店を設置 ・ 市特産品の無料配布を実施する自治体もある ・ スポンサーへの配慮が必要（スポンサーが飲料メーカーの場合、売店でのスポンサー商品以外の販売は不可。既存自動販売機は可）
	使用料	・ 公園が指定管理の場合、準備期間・大会期間中の使用料は市町村で支払うケース・支払わないケースがあった。県内他自治体に確認の上、検討が必要（滋賀県は支払った場合が多数）

② 滋賀県国スポ等視察

1) 卓球

ア) 実施概要

日程	令和7年9月29日（月）
場所	野洲市総合体育館
主な確認事項等	・運営諸室の状況、運営サイドの動き ・選手等関係者動線 ・アリーナ内の施設配置等 ・観客の状況（観客数、動線等） ・駐車場の運営状況 ・おもてなしエリアの状況 ・トイレ等の状況

イ) 会場の様子



アリーナ内



アリーナ内



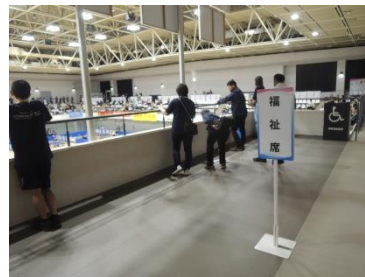
ドリンクコーナー



カームダウンスペース



報道員・視察員控室



福祉席



選手控室



トイレ



屋外トイレ（仮設）



物販ブース



おもてなしコーナー、案内所



休憩所

2) ソフトボール

ア) 実施概要

日程	令和7年9月30日（火）
場所	今津総合運動公園
主な確認事項等	・運営諸室の状況、運営サイドの動き ・選手等関係者動線 ・グラウンド内の施設配置等 ・観客席の配置状況、観客の状況（観客数、動線等） ・飛球防止策 ・駐車場の運営状況 ・おもてなしエリアの状況 ・トイレ等の状況

イ) 会場の様子



外野エリア



スコアボード付近



飛球防止ネット等



練習会場



仮設観覧席



福祉席



ダッグアウト、選手荷物置場



ボールパーソン席、救護席



視察員席、報道員席



おもてなしエリア



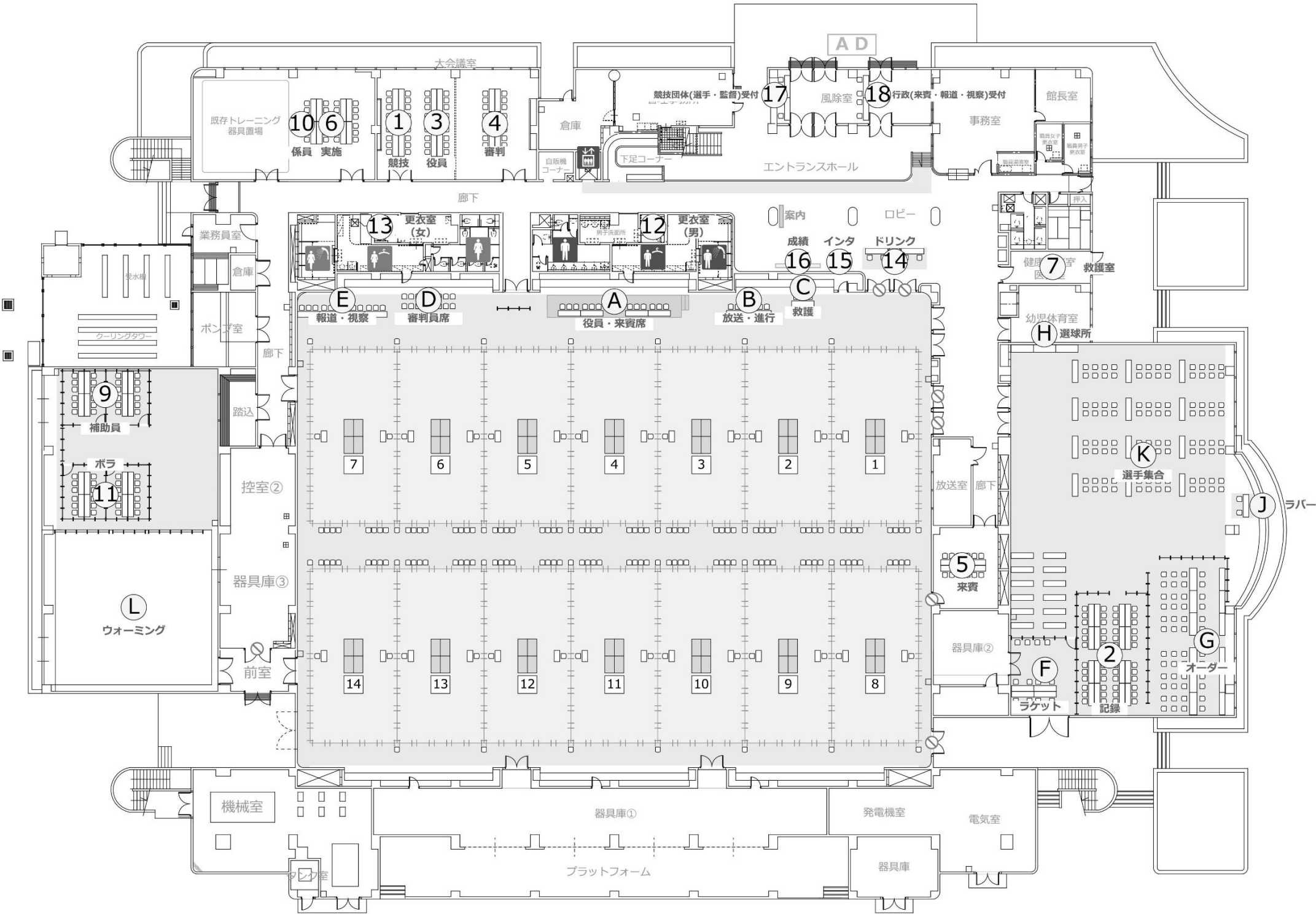
休憩スペース



実施本部

③ 先催地の競技会場レイアウト

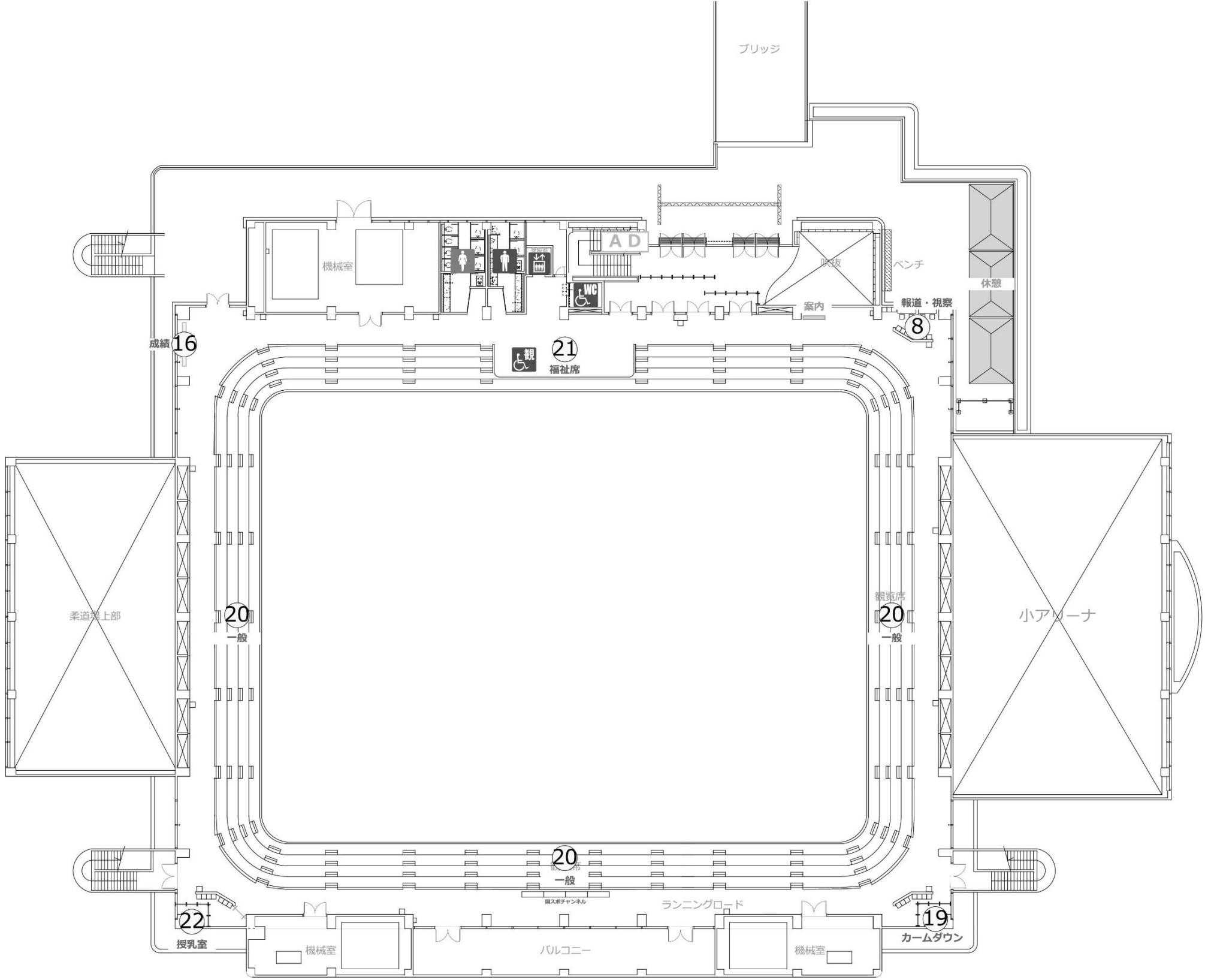
1) 卓球（野洲市総合体育館）



NO.	施設名
A	競技役員・来賓席
B	放送・進行席
C	救護席
D	審判員席
E	報道員・視察員席
F	ラケットコントロール室
G	オーダー交換所
H	選球所
J	ラバー貼替所
K	選手集合所
L	ウォーミングアップスペース

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技会係員控室
11	ボランティア控室
12	選手更衣室（男）
13	選手更衣室（女）
14	ドリンクコーナー
15	インタビューコーナー
16	成績掲示板
17	競技団体（選手・監督）受付
18	行政（来賓・報道・視察）受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	

資料：わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 競技別プログラム（卓球）



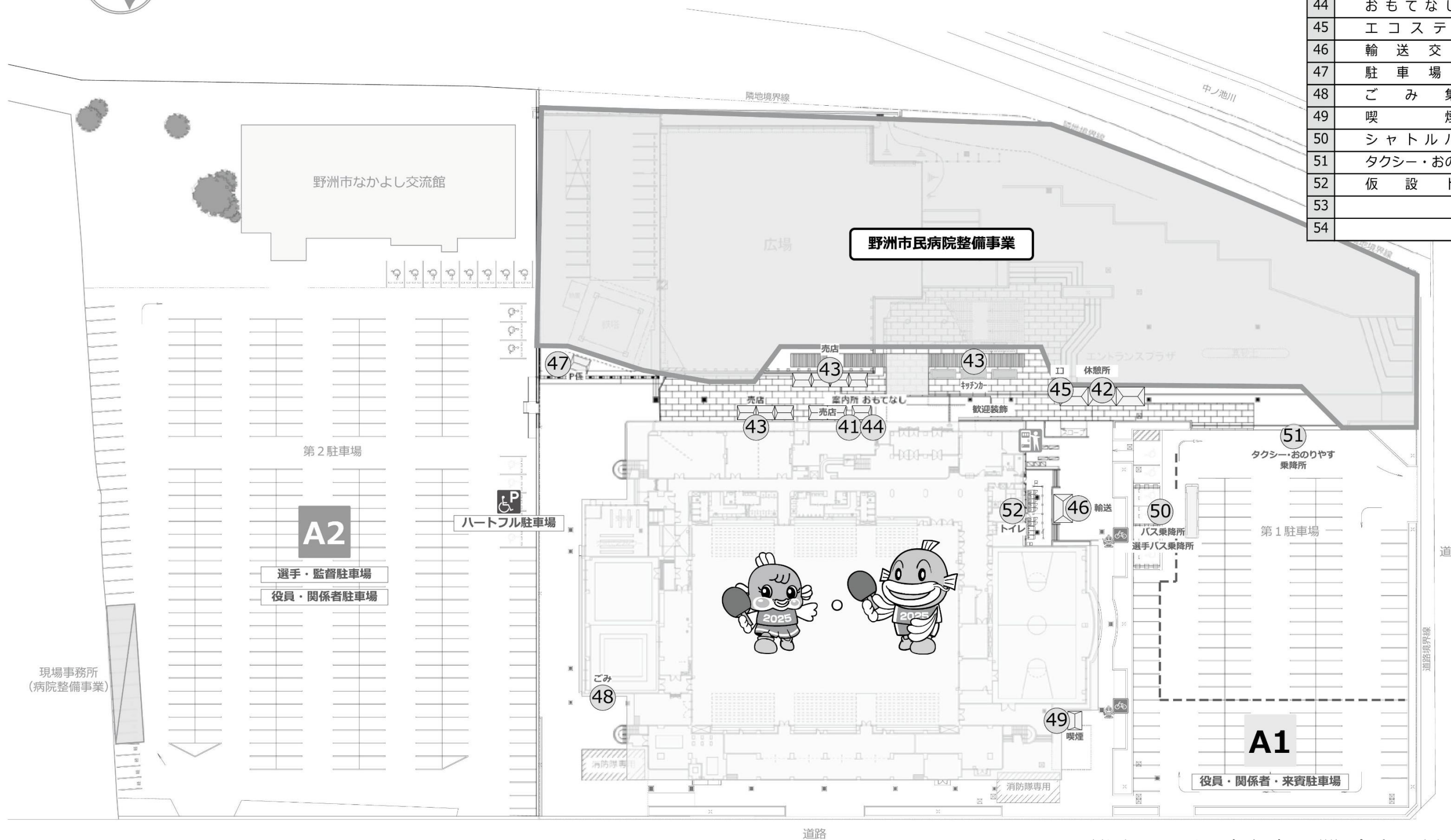
NO.	施設名
A	競技役員・来賓席
B	放送・進行席
C	救護席
D	審判員席
E	報道員・視察員席
F	ラケットコントロール室
G	オーダー交換所
H	選球所
J	ラバー貼替所
K	選手集合所
L	ウォーミングアップスペース

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技会係員控室
11	ボランティア控室
12	選手更衣室（男）
13	選手更衣室（女）
14	ドリンクコーナー
15	インタビューコーナー
16	成績掲示板
17	競技団体（選手・監督）受付
18	行政（来賓・報道・視察）受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	

資料：わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 競技別プログラム（卓球）



NO.	施設名
41	案内所
42	一般休憩所
43	売店
44	おもてなしコーナー
45	エコステーション
46	輸送交通本部
47	駐車場係控所
48	ごみ集積所
49	喫煙所
50	シャトルバス乗降所
51	タクシー・おのりやす乗降所
52	仮設トイレ
53	
54	



資料：わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 競技別プログラム（卓球）

2) ソフトボール (今津総合運動公園)



資料：高島市国スポ・障スポ大会 ソフトボール（成年女子）会場マップ



資料：高島市国スポ・障スポ大会 ソフトボール（成年女子）会場マップ

ソフトボールD球場

N
↑

練習会場受付
23

選手バス駐車場

競技役員駐車場
P

選手乗降所
46

駐車場係控所
47

ソフトボール大会本部
(体験交流センターゆめの)

記録速報
22

受付
21

補助員
20

アップ場

選手更衣室
17

次試合選手
16

スコアボード
15

得点揭示

アップ場

アップ場係

選手用トイレ
19

記録速報
22

ソフトボール競技会場B

NO	施設名称
1	競技本部・競技役員控所
2	記録本部
3	審判員控所・更衣室
4	救護所
5	実施本部
6	球場本部・記録・放送席
7	来賓
8	ボールパーソン席・救護席
9	審判員席
10	ダッグアウト
11	選手荷物置場
12	視察員・報道員席
13	一般観覧席
14	福祉席
15	得点揭示係員控所
16	次試合選手控所
17	選手更衣室
18	アップ場係員控所
19	仮設トイレ
20	競技補助員控所
21	受付
22	記録速報所
23	練習会場受付

共通施設

NO	施設名称
46	選手バス乗降所
47	駐車場係控所

ゾーニング凡例

- イレクターフェンス
- ローピング
- 仮設床設備

競技備品

- 外野フェンス
- 内野フェンス
- ベンチ前フェンス
- 出入口フェンス

25

第4章 中央競技団体正規視察における指摘・要望事項

(1) 正規視察の実施概要

① 卓球

1) 実施概要

日程	令和8年1月27日(火)
場所	総合体育館
出席者	公益財団法人日本卓球協会 一般社団法人奈良県卓球協会 奈良県 桜井市
準備状況説明等	・競技会場の施設概要 ・競技運営準備状況

2) 視察の様子



② ソフトボール

1) 実施概要

日程	令和8年2月5日(木)
場所	運動場
出席者	公益財団法人日本ソフトボール協会 奈良県ソフトボール協会 奈良県 桜井市
準備状況説明等	・競技会場の施設概要 ・競技運営準備状況

2) 視察の様子



(2) 指摘事項及び要望事項

① 卓球

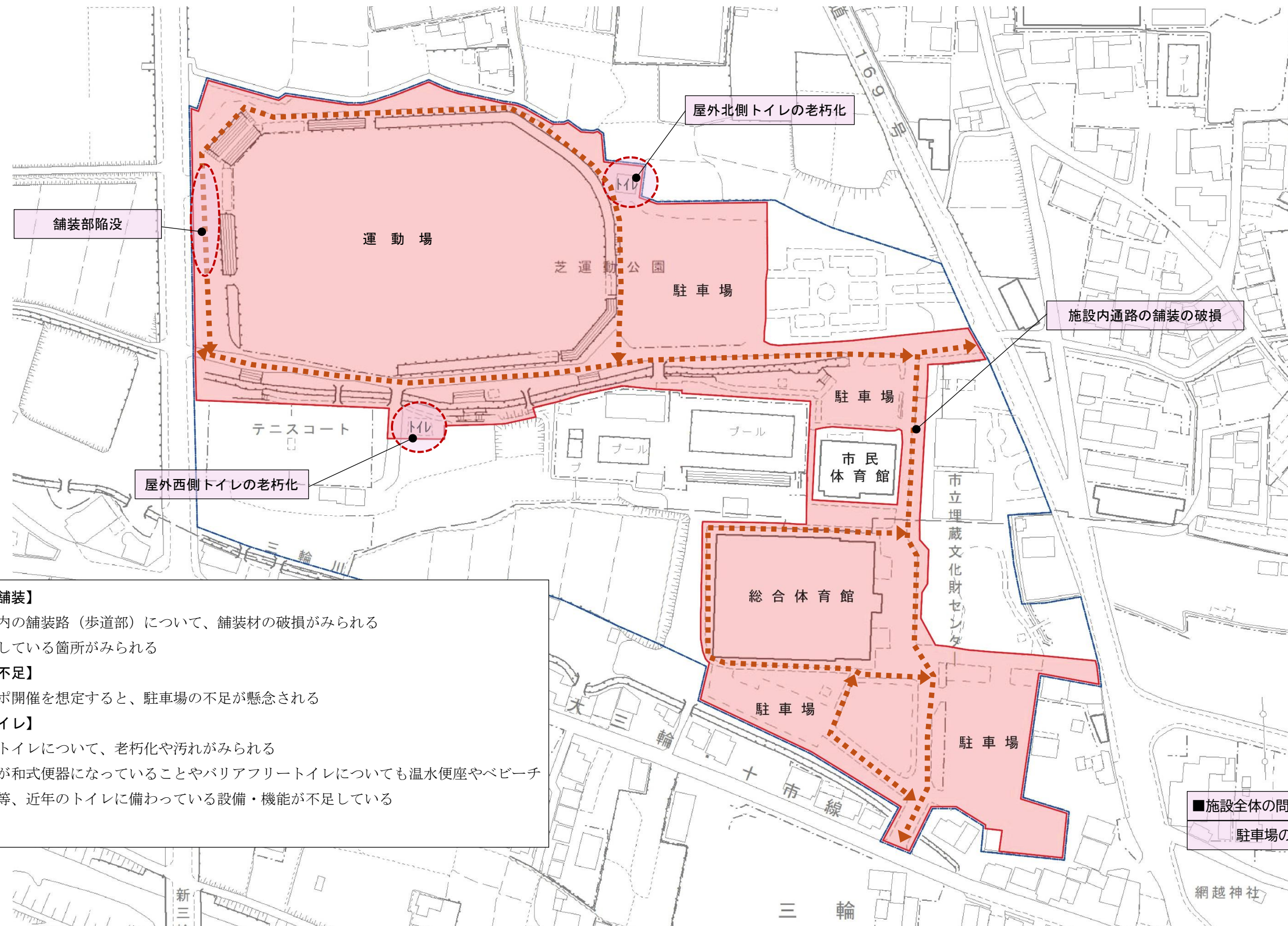
項目		事項
1 競技施設整備 の状況	指摘	・照明設備（照度 1,000 ルクス以上の確保）の整備。 ・1 階アリーナの倉庫のシャッターを開けた場合の選手のプレーに及ぼす視覚的な支障対策。 ・床面整備。（床面整備をする場合は、白っぽい色は避ける。） ・競技コートは 14 面数（卓球台 14 台）を確保。
	要望	・卓球台及びネットサポートの新規購入をお願いしたい。可能であれば、リハーサル大会（全日本選手権団体の部）までに備えてほしい。 ・照明は競技に支障のない角度で設置してほしい。 ・壁面・シャッター等のコントラストの最適化。 ・空調設備の整備（風向制御）
2 競技運営計画 （審判員等養成計画含む）	指摘	—
	要望	・審判員の養成及び選手の強化
3 宿泊・輸送計画	指摘	—
	要望	—
4 その他	指摘	—
	要望	・バリアフリー化の促進 ・監督会議の場所の確保 ・ドーピング検査室の確保 ・選手と一般観覧者の各動線の確保

② ソフトボール

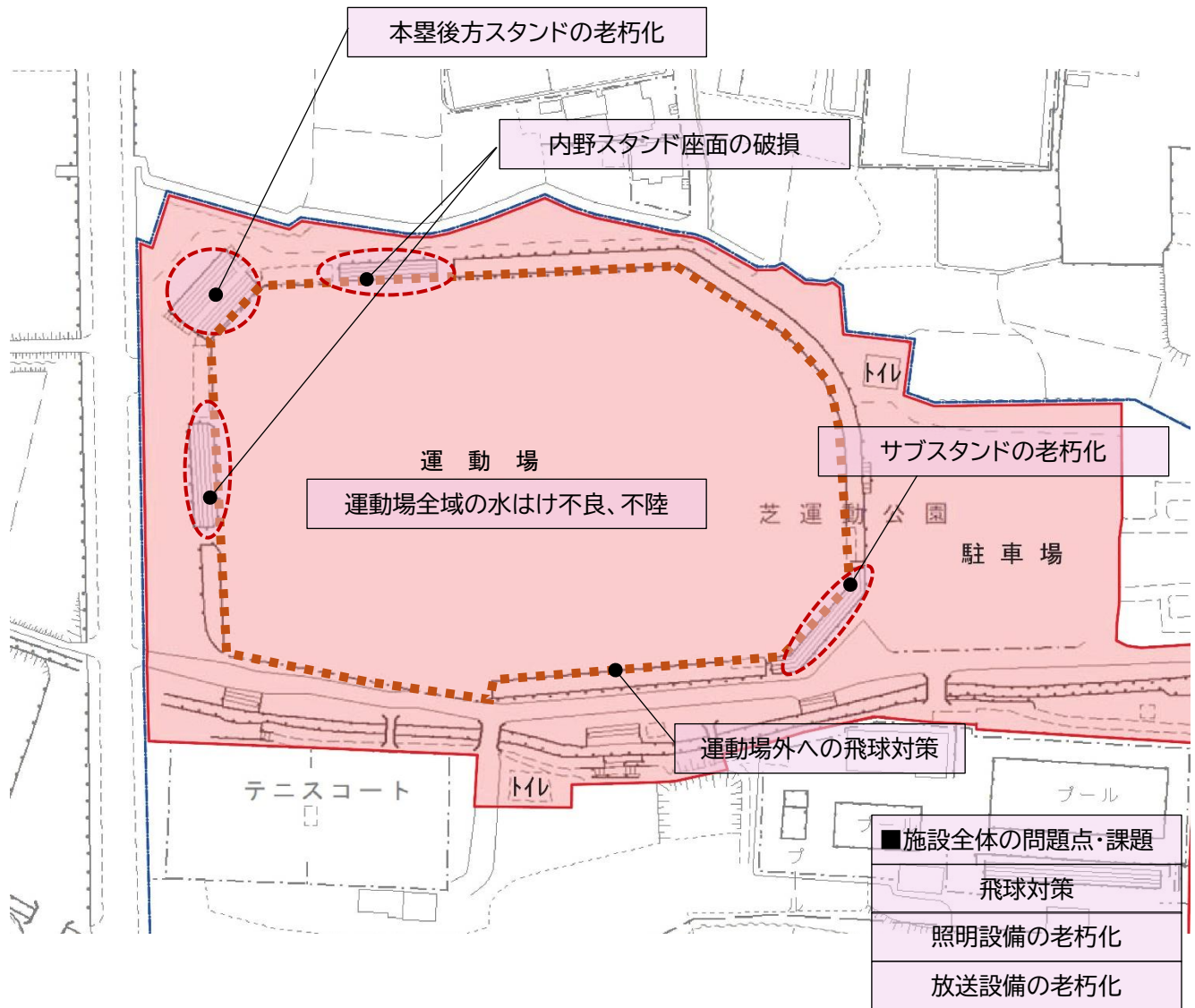
項目		事項
1 競技施設整備 の状況	指摘	・ナイター対応ができる、照明の高さ及び照度を確保する。 ・東西両面の防球ネットが低いため、十分な高さを確保する。 ・マウンドを削ってフラットにする。 ・グラウンドの排水機能を整備する。 ・グラウンドの不陸を整備する。 ・マウンド後方にある散水栓の金属蓋を、ケガ防止のため滑らない素材に変更する。
	要望	・壁面や側溝がコンクリートのため、国スポ後も見据えた利用者の安全確保のため、ラバー素材などへの変更を希望する。
2 競技運営計画 （審判員等養成計画含む）	指摘	—
	要望	—
3 宿泊・輸送計画	指摘	—
	要望	—
4 その他	指摘	—
	要望	・女子トイレが少ないため、対応を検討。 ・成年女子はオリンピック選手等が国スポに出場する可能性があるため、観客席の増設対応を検討。

第5章 現況把握に基づく開催施設としての問題点・課題の整理

(1) 対象施設全体



(2) 運動場



【運動場の不陸・水はけ】

- ・運動場全体の不陸と排水不良

【スタンド】

- ・本塁後方スタンドが老朽化している
- ・内野スタンドの座面の破損
- ・サブスタンドが老朽化している

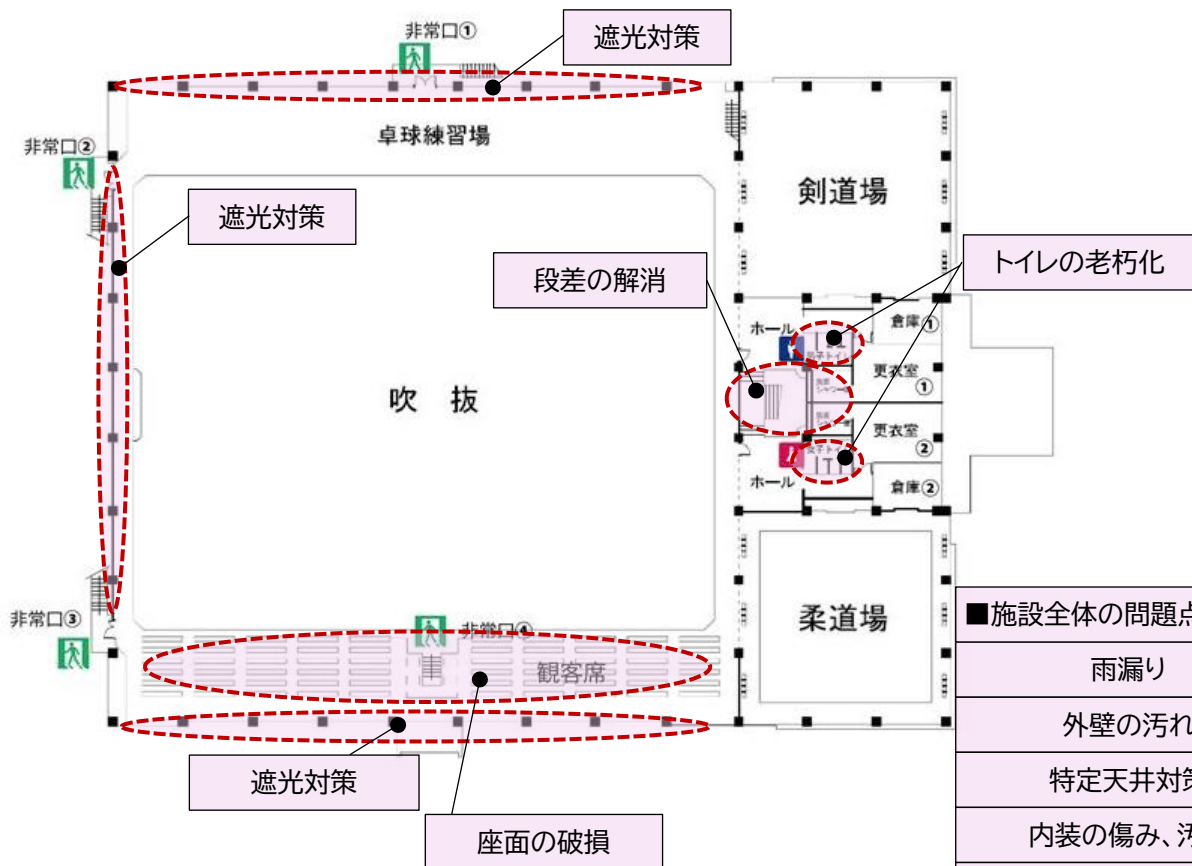
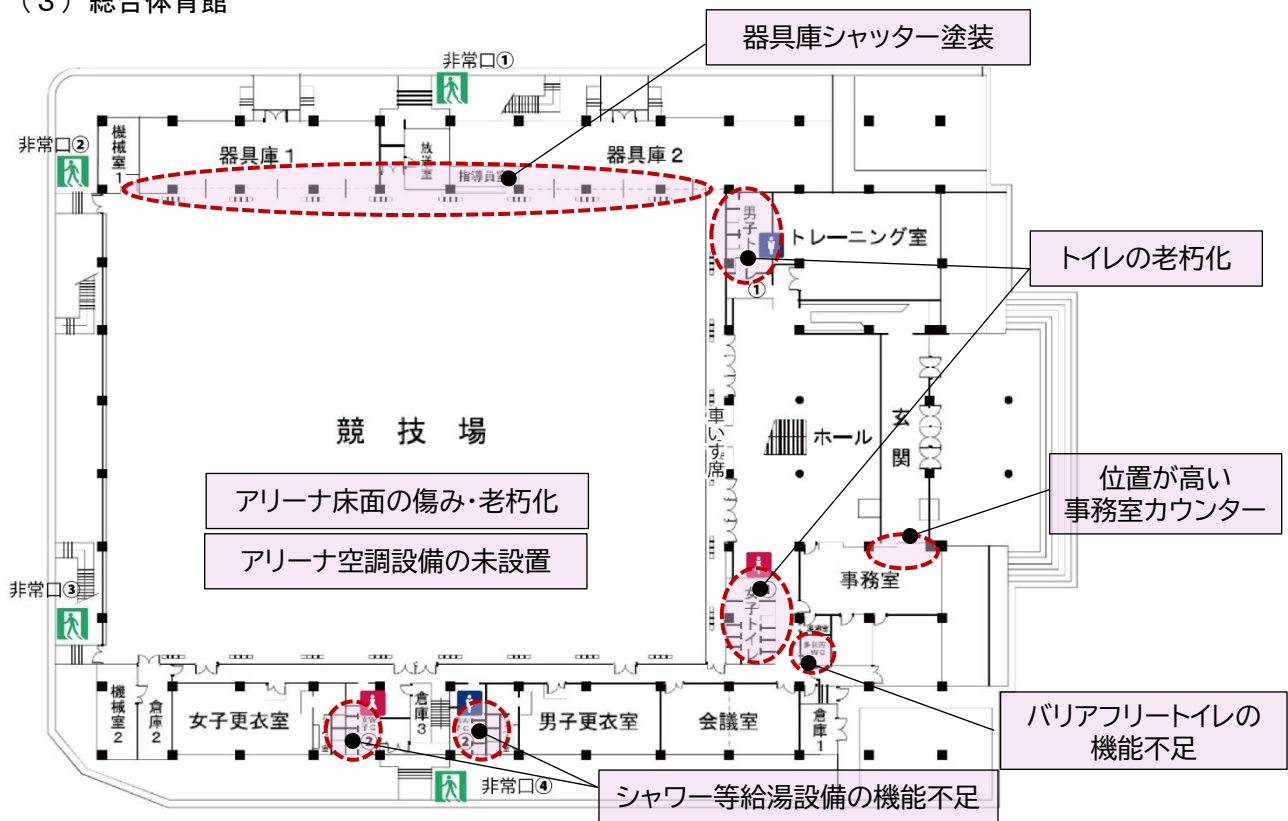
【照明・放送設備等】

- ・照明の一部が切れている他、照度不足や LED 化に対応できていない
- ・放送設備の老朽化が進み、運動場での放送業務に支障が生じている

【防球ネット】

- ・国スポ開催を見込み、飛球対策の強化が必要

(3) 総合体育館



■施設全体の問題点・課題
雨漏り
外壁の汚れ
特定天井対策
内装の傷み、汚れ
諸室換気設備等老朽化
諸室照明設備老朽化
放送設備老朽化
防犯カメラ老朽化及び機能不足

【雨漏り・外壁汚れ】

- ・剣道場やアリーナ西側等で雨漏りが発生しており、大屋根を含めた屋根改修等の対応が必要である
- ・外壁の汚れ、レンガの浮き、損傷が目立つ

【アリーナ】

- ・特定天井となっており対策が必要である
- ・アリーナ床面の老朽化が進み、傷みがみられる
- ・アリーナの空調が未設置である
- ・照明の照度確保、LED化が必要（令和8年度対応済）
- ・卓球競技等、ボールが見えやすいよう、器具庫のシャッター等の再塗装が必要

【窓】

- ・卓球競技等、ボールが見えやすいよう、遮光対策が必要

【観客席】

- ・座面の老朽化が進んでおり、一部破損している

【トイレ】

- ・トイレの老朽化が進んでいるため汚れが目立つ。洋式化は進んでいるが、温水便座等、近年のトイレに備わっている設備・機能が不足している
- ・バリアフリートイレについて、温水便座やベビーチェア、オストメイト対応設備等、近年のトイレに備わっている設備・機能が不足している

【シャワー】

- ・シャワー等給湯設備の機能が不足している

【通路・諸室等】

- ・内装の傷み、汚れがみられる
- ・照明設備や換気設備等が老朽化している

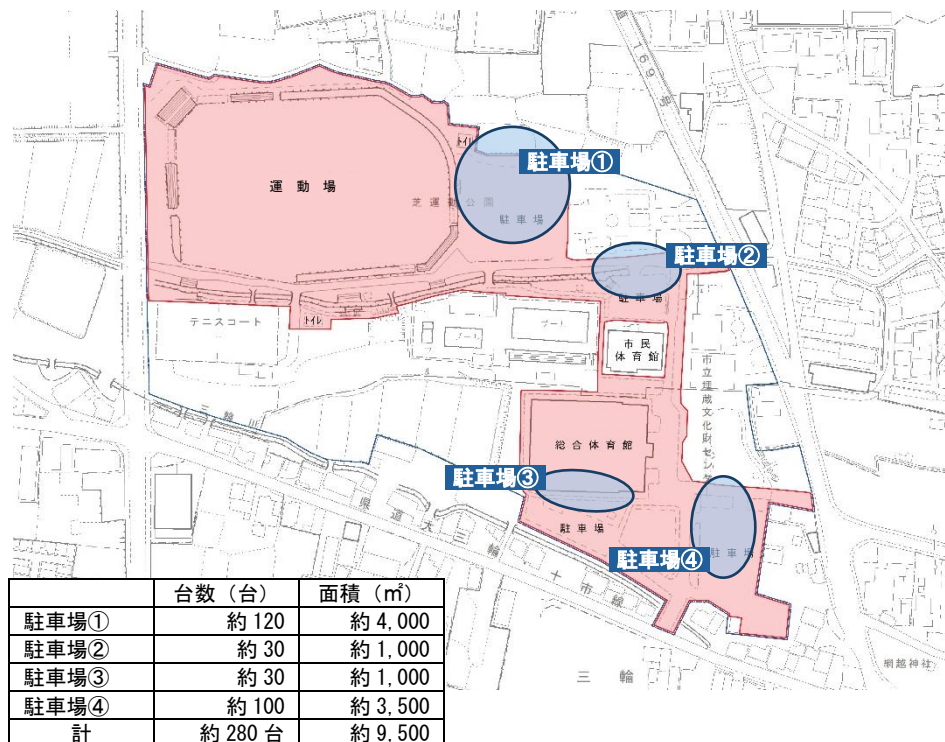
【放送・防犯設備】

- ・放送設備が老朽化している
- ・防犯カメラが老朽化しており機能が不足している

第6章 駐車場計画及び敷地内車道・歩道動線とバリアフリー対応の検討

(1) 駐車場の現状

現状の駐車場については、芝運動公園内に4箇所、全てを合わせると、約280台（約9,500㎡）となっている。



(2) 先催地の状況

- 先催地の駐車場の状況として、競技会場の立地によって異なっているが、比較的市街地部に近い立地、拠点鉄道駅からの距離等、芝運動公園と条件に近い先催地の例からは、概ね500台の駐車場が必要になると考えられる。

会場名	市町村	立地	拠点鉄道駅との距離	国スポーツ時駐車場面積/(台数)	備考
開間総合グラウンド (ソフトボール)	鹿児島県指宿市	・山間部	・約500m	約35,000㎡ (約1,400台)	・鉄道の輸送力が弱く、自動車での移動が想定され、臨時駐車場が設置された
今津総合運動公園 (ソフトボール)	滋賀県高島市	・田園部	・約2,000m	約30,000㎡ (約1,200台)	・既存施設の駐車場面積が20,000㎡を超える
基山町総合体育館 (卓球)	佐賀県基山町	・田園部	・約500m	約36,000㎡ (約1,400台)	・既存施設の駐車場面積が約20,000㎡
野洲市総合体育館 (卓球)	滋賀県野洲市	・田園部	・約2,000m	約13,000㎡ (約500台)	・観客は鉄道駅からシャトルバスを利用
参考 栗東市民体育館 (レスリング)	滋賀県栗東市	・市街地部	・約1,000m	約6,000㎡ (約250台)	・観客は鉄道駅からシャトルバス ・日本版ライドシェア実証運行

（３）必要となる駐車場の想定

先催地の状況から、国スポ等の円滑な運営のためには、概ね 500 台程度の駐車場が必要と考えられるが、芝運動公園内には、現時点で約 280 台の駐車台数しか見込むことができないことから、駐車場機能の強化が必要となってくる。概ね 500 台を確保するためには、さらに約 5,000 m²程度の駐車場スペースが必要になると考えられる。

なお、参考にした滋賀県野洲市の卓球会場においては、国スポ等開催期間中、一般観覧者の駐車場を準備せず、最寄りの鉄道駅からシャトルバスを運行していたことから、500 台程度の駐車台数を確保した上で、ソフト面での駐車場対策についても、合わせて検討することが求められる。

（４）駐車場計画の検討

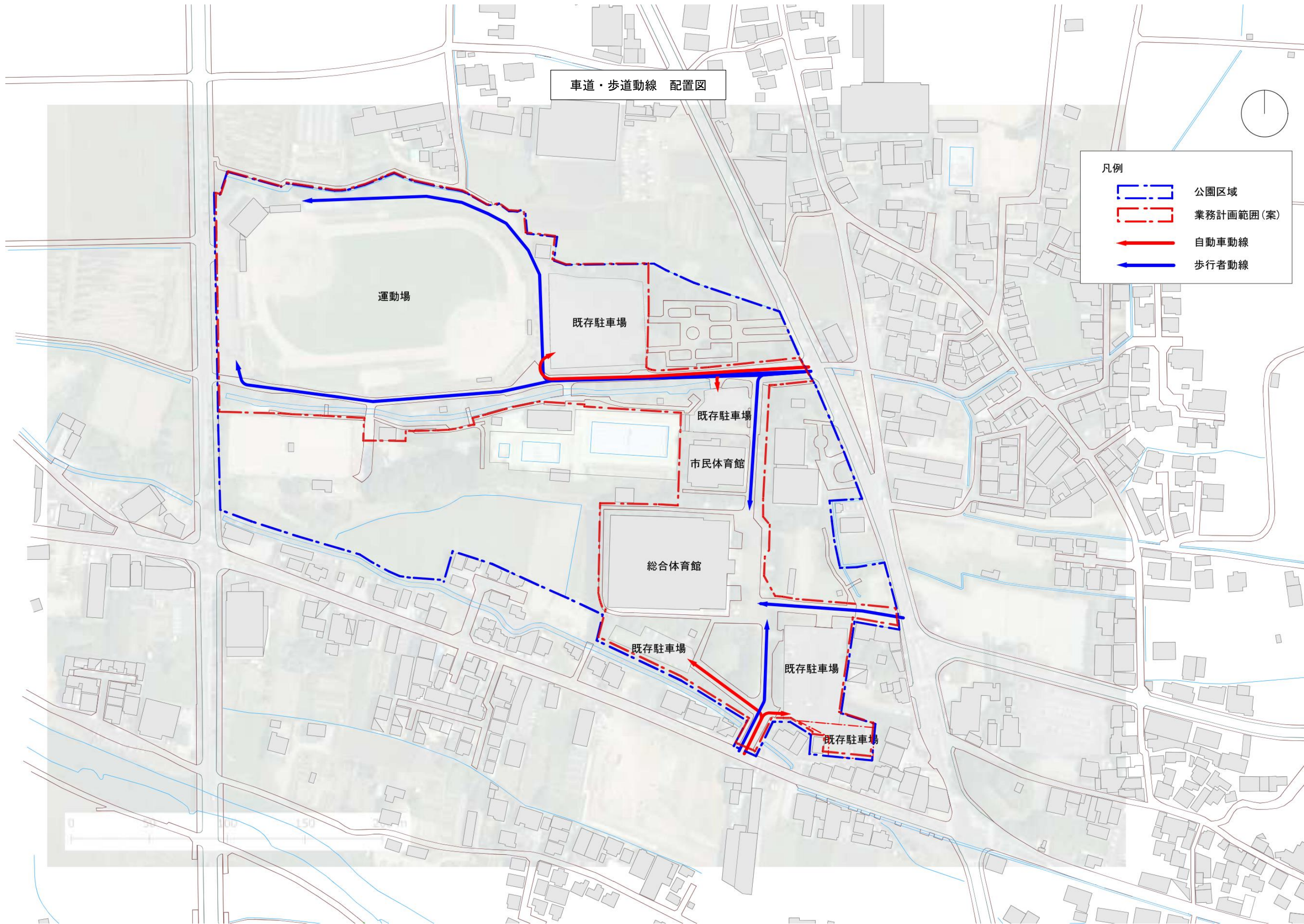
駐車場計画の策定にあたっては、「会場周辺や郊外の駐車場の確保（借地を含む）」「公共施設の駐車場の利用」「パークアンドライド」「公共交通機関利用の促進」を柱として、下記のとおり検討を行っていくこととする。

利用者等	内容
大会関係者用駐車場	○芝運動公園内駐車場及び周辺駐車場（借地を含む）で概ね 500 台を確保し、大会関係者用の駐車場とする。
一般観覧者用駐車場 及び輸送概要	○公共交通機関の利用の促進とパークアンドライドの活用 ・鉄道駅から会場間のシャトルバスによる輸送 ・郊外の駐車場（借地を含む）や公共施設の駐車場等から、シャトルバスにより会場間を輸送 ○公共交通（鉄道、バス）の利用の促進 ・最寄り駅：JR まほろば線三輪駅⇄会場 約 0.8km 徒歩 12 分 ・JR まほろば線桜井駅・近鉄大阪線桜井駅⇄会場 約 2.5km

（５）車道・歩道動線の検討

芝運動公園への車両の出入りは、平常時においては、総合体育館前の車道部分は車両の進入を禁止している。そのため、運動場への車両での出入りは、東側に面する国道 169 号からの出入りする形となっており、総合体育館へは、東側からの出入りもあるが、南側からの出入りが多くなっている。なお歩行者は、総合体育館東側の国道 169 号・三輪参道入り口交差点からの出入りが多くなっている。

国スポ等開催時においては、シャトルバスの乗降場所とバス等の大型車両の駐車場を総合体育館南東側の駐車場に設置し、大型車両の出入りには南側出入口を使うことで、体育館前等、多くの人が行き来する箇所に車両動線が交錯しないよう配慮することが望ましいと考える。



(6) バリアフリー対応の検討

芝運動公園内を含め、バリアフリー対応を進めることが望ましい箇所について整理を行う。

【公園】

箇所	概要
歩道部の舗装	・南北等の歩道部において、複数個所の舗装タイルの剥離・割れがみられる。
北側トイレ	・手洗いが衛生水栓となっている。 ・一部が和式便器となっている。 ・バリアフリートイレが設置されているが、オストメイト対応設備やベビーチェア、温水洗浄便座等の設備がない。
西側トイレ	・舗装材が剥離した箇所がみられる。 ・一部が和式便器となっている。 ・バリアフリートイレが設置されているが、オストメイト対応設備やベビーチェア、温水洗浄便座等の設備がない。

【体育館】

箇所	概要
エントランス	・アプローチの階段部やスロープのタイルが剥離している箇所がみられる。
受付カウンター	・カウンターの位置が高く、車いす利用者等の利用が困難である。
1階バリアフリートイレ	・オストメイト対応設備やベビーチェア、温水洗浄便座等の設備がない。
2階柔剣道場・トイレ等入口	・入口に段差が設けられている。

第7章 改修計画内容の検討

(1) 施設整備方針

総合体育館及び運動場は、市民体育祭や市民体育大会、ウォーキングフェスティバル、駅伝大会などが開催され、市民がスポーツや健康づくり活動に親しみ心豊かな時間を過ごすことができる施設になっている。

両施設が国スポ等に活用されることは、本市にとって誇らしいことであるが、大会の成功に向けての環境整備が求められる。また、大会後においても国スポ等を契機に改修した施設が本市における市民のスポーツへの関心の醸成、健康づくりの増進につながり、地域交流の拠点として恩恵をもたらす「レガシー」となるような整備が求められる。

これらのことを踏まえ、国スポ等開催予定施設の整備については、下記に掲げる整備を基本としつつ、本市の国スポ・全スポ開催のコンセプトである「コンパクトな大会」を念頭に、財政負担とのバランスを考慮し、大会開催に必要な最小限の整備を行うことを方針とする。

①国スポ等の開催に対応した施設機能の整備

- ・中央競技団体正規視察における指摘事項、要望事項及び国スポ等の施設整備基準を踏まえ、円滑な運営に資する整備を行う。
- ・競技実施における参加者の危険防止のために必要な整備を行う。

②地域スポーツ・生涯スポーツ拠点としての施設整備

- ・施設の利便性や安全性の向上を図り、大会後も、市民が年代を問わず、だれもが、いつでもスポーツに親しめる環境を整える。

③地域の安心・安全を確保するレジリエンス拠点づくりのための施設整備

- ・芝運動公園は地域防災計画において、災害時の地域防災拠点と位置付け、指定緊急避難所、指定避難所及び防災ヘリコプター等飛行場外離着陸場となっているため、避難所や支援活動の拠点としての整備を行う。

(2) 導入する機能の整理

	公園全体	運動場	総合体育館
①国スポ等の開催に対応した施設機能の整備	・国スポや広域レベルでのスポーツ大会、大規模イベント等が円滑に運営できる機能	・国スポのソフトボール競技が円滑に運営できる機能	・国スポの卓球競技が円滑に運営できる機能
		・一定の広域レベルのスポーツ大会が誘致できる機能	
②地域スポーツ・生涯スポーツ拠点としての施設整備	・誰もが利用できるよう、バリアフリーにも配慮された施設 ・誰もが快適に利用できるよう、空調等衛生設備が整った施設		
③地域の安心・安全を確保するレジリエンス拠点づくりのための施設整備	・環境負荷の低減等維持管理の効率化が図られた施設		
	・災害時の緊急避難や防災ヘリコプターの離着陸が可能な防災機能		・災害時に一定の期間を過ごすことができる避難所機能

(3) 具体的な改修事項等の整理

① 公園全体

整備箇所等	整備項目	概要
公園内舗装部	部分修繕	・園路車道部・歩道部・駐車場等の舗装の破損部の部分修繕
北側・西側トイレ	施設機能の向上や修繕	・破損個所の復旧やバリアフリースイールの機能向上、外壁塗装等の修繕

② 運動場

整備箇所等	整備項目	概要
本塁後方スタンド	撤去及び新設復旧	・老朽化しているスタンド棟の撤去 ・スタンド下諸室機能確保のため、鉄骨造レベルの建築物の新設整備
サブスタンド	再整備	・老朽化しているスタンドの再整備
防球ネット	新設整備	・飛球対策のための防球ネットの新設整備
内野スタンド	座面撤去及び新設復旧	・老朽化した座面の撤去 ・座面の新設整備
グラウンド	表土入れ替え	・排水不良や不陸矯正のため、グラウンド全面の表土の入れ替え（芝生部含む）
	排水施設再整備	・グラウンド排水機能向上のための地下排水管の再整備 ・安全性確保のためのグラウンド周囲の排水溝の蓋の再整備
	外周RC壁修繕	・RC壁の部分補修及び塗装の塗り替え
屋外照明	照度及び高さの確保	・本大会は仮設対応 ・照明灯のLED化は本大会後に実施
フェールポール	修繕	・老朽化するフェールポールの修繕
放送設備	再整備	・老朽化する放送設備の再整備

③ 総合体育館

整備箇所等	整備項目	概要
屋根・屋上・天井	大屋根葺き替え 特定天井対策	・屋根葺き替え ・既存特定天井の再整備
外壁	塗装修繕等	・汚れが目立つ外壁の塗装修繕 ・破損等タイルの部分修繕
アリーナ部	床面再整備	・老朽化し傷みがみられる床面の撤去及び張替再整備 ・競技特性や避難所機能確保に配慮した床下輻射熱式空調設備に対応する鋼製床下地
	器具庫シャッター塗装	・競技対策のための明度の低い色へのシャッターの塗り替え
	遮光シャッター新設整備	・競技対策のための遮光シャッターの新設整備
観客席	座面の部分補修	・破損している座面の部分補修
トイレ（1F・2F）	再整備及び改修	・機能向上のためバリアフリートイレの再整備 ・内部改修等
空調設備	新設及び再整備	・アリーナ部の床下輻射熱式空調設備の新設整備及びキュービクルの新設整備 ・各諸室の空調設備の再整備
給湯設備	再整備	・シャワー室・給湯室の給湯機能確保のための設備の再整備
電気設備	再整備	・老朽化している音響設備、放送設備、換気設備、消防設備、非常放送設備等の更新再整備
行幸啓・お成り対応	行幸啓・お成り対応整備	・ロイヤルボックス等の整備（仮設対応）
その他	改修等	・段差解消改修、破損や傷みが見られる内部・外部開口部及び内装等の改修

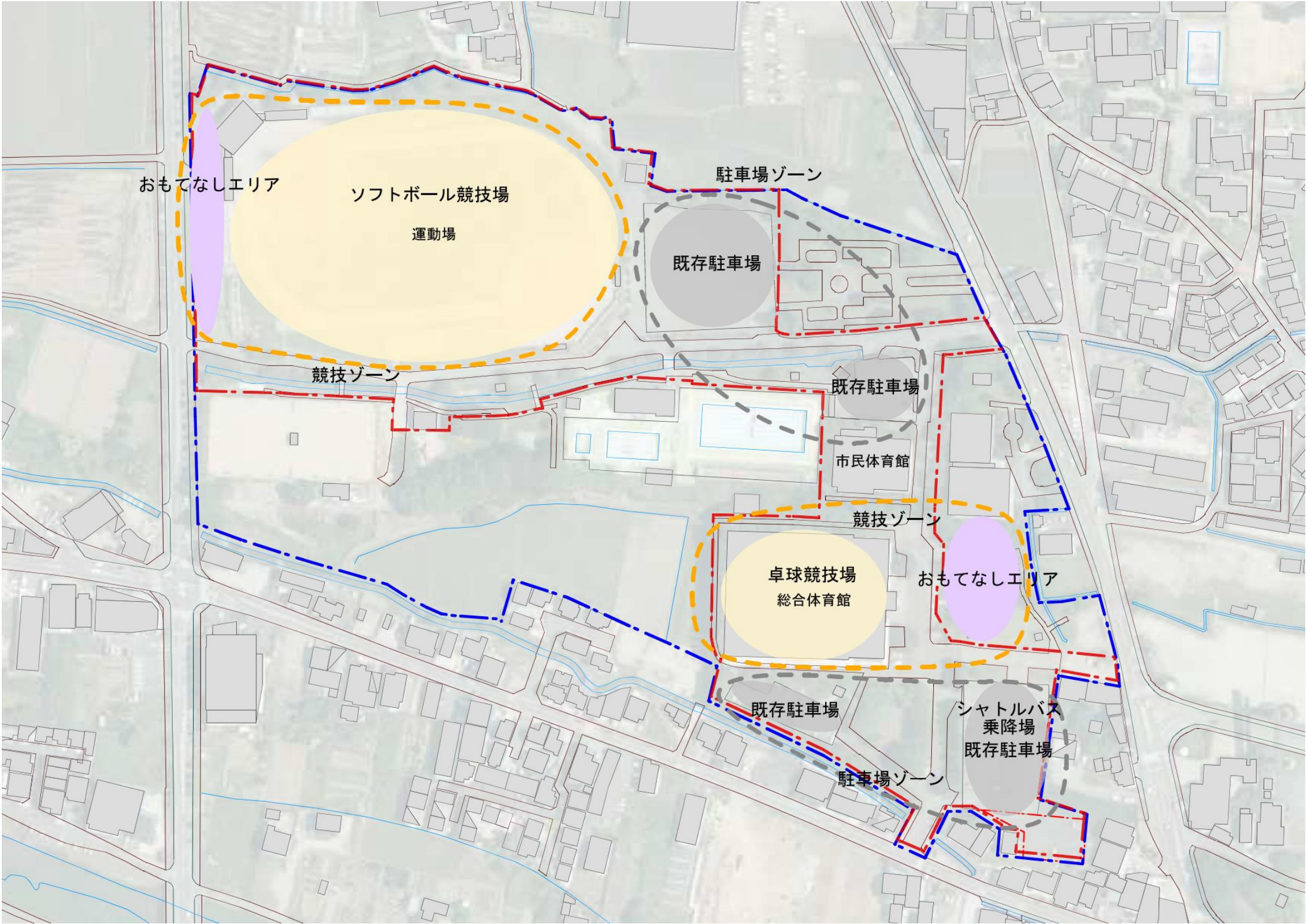
（設計段階における整備内容の変更について）

本計画（基本構想）に記載している工事内容は現時点での概略を示すものであり、今後の詳細な調査結果等により変更となる場合がある。

今後実施する基本設計における詳細な現地調査等において、施設の耐久性の著しい低下や、深刻な破損・老朽化などが確認された場合には、安全かつ確実な施設整備を行うため、基本構想で定めた工事内容や工法を見直し、整備内容に変更して工事を実施することがある。

(4) ゾーニング

- ・これまでの検討を踏まえて、国スポ開催中のゾーニングを以下の図のように示す。
- ・ゾーニングの検討にあたっては、ソフトボールと卓球は別日に開催されることを想定し、いずれの競技の開催時も利活用できる駐車場及び車両動線を整備することとする。



国スポ開催時ゾーニング図

(5) 国スポ競技開催会場計画平面図

①先催地の機能配置状況

先催地の国スポ開催時の施設・機能配置状況について整理を行う。

◆ソフトボール競技場

	機能	先催地 A	先催地 B	先催地 C
1	球場本部・記録・放送席	25.92 m ²	19.44 m ² ×2	48.6 m ²
2	審判員控所	23.9 m ²	9.72 m ²	(球場外 21 m ²)
3	審判員席	9.72 m ²		19.44 m ²
4	ダッグアウト	9.72 m ² 、19.44 m ²	9.72 m ²	19.44 m ² ×2
5	報道カメラ席	16.7 m ²		
6	視察員・報道員席	9.72 m ²	19.44 m ²	9.72 m ²
7	一般観覧席	200 席×2 (仮設)	約 320 m ²	257.58 m ²
8	福祉席	9.72 m ²	9.72 m ²	9.72 m ²
9	大会役員・来賓席	9.72 m ²	19.44 m ²	19.44 m ²
10	競技役員補助員席	9.72 m ²		
11	得点表示係員席	19.44 m ²	9.72 m ²	9.72 m ²
12	バックスクリーン		1	
13	スコアボード	1	1	1
14	BS0 ボード	1	1	1
15	次試合選手控所	19.44 m ²	19.44 m ²	19.44 m ² ×2
16	選手更衣室			19.44 m ² ×2
17	選手荷物置場 (1 塁側 3 塁側)			19.44 m ² ×2
18	既存トイレ (屋外)	19 m ²		
19	選手用トイレ (仮設)	洋便 2		洋便 3×2 (両翼)
20	一般用仮設トイレ (仮設)	19.44 m ² ×2 男-洋便 2 小便 2 女-洋便 4		
21	バリアフリートイレ (仮設)	7.7 m ²		
22	静養所	4.86 m ²		
23	救護本部	19.44 m ²		(球場外 21 m ²)
24	球場委員控所		9.72 m ²	
25	ボールパーソン席			19.44 m ²
26	アップ場		約 3,500 m ²	
27	部材倉庫	19.44 m ² ×2		
28	センターカメラ席		1	

◆ソフトボール競技場外

	機能	先催地 A	先催地 B	先催地 C
1	総合案内所	19.44 m ²		19.44 m ²
2	開催地 PR ブース	19.44 m ²		
3	一般休憩所	64.8 m ² ×2	77.76 m ²	77.76 m ² ×2
4	受付		19.44 m ²	
5	来賓・視察員・報道員受付/競技役員受付	19.44 m ²		
6	選手受付	4.86 m ²		
7	実施本部	327 m ² (既存施設)	長机 6 椅子 15	50.9 m ² (屋外、仮設)
8	記録速報所	19.44 m ²	9.72 m ²	19.44 m ²
9	弁当引換所	19.44 m ²	19.44 m ²	19.44 m ² ×2
10	売店	19.44 m ² ×11	19.44 m ² ×17	19.44 m ² ×6
11	無料ドリンクコーナー	19.44 m ²	19.44 m ²	19.44 m ² ×2
12	ふるまいコーナー		19.44 m ²	19.44 m ²
13	競技本部・競技役員控所			26 m ² (既存施設)
14	競技会係員・補助員控所 (既存施設)	138 m ² (既存施設)	長机 8 椅子 24	19.44 m ² ×3
15	競技役員控所 (既存施設)		長机 4 椅子 12	
16	競技補助員控所 (既存施設)		長机 8 椅子 24	
17	環境美化係・競技会場係控所	138 m ² (既存施設)	長机 4 椅子 12	19.44 m ²
18	インタビューコーナー		2 か所	
19	ミーティング室	254 m ² (既存施設)		
20	静養所	38 m ² (既存施設)		
21	記録本部 (既存施設)	89 m ² (既存施設)	長机 8 椅子 15	66 m ² (既存施設)
22	救護所 (既存施設)	38 m ² (既存施設)	長机 2 椅子 6 ベッド 2	
23	授乳室	34 m ² (既存施設)		9.72 m ²
24	会場案内図	1	1	
25	対戦組合せボード (成年男子・少年男女)	1	1	
26	対戦組合せボード (成年女子)	1	1	
27	ゴミ集積所	1	19.44 m ²	19.44 m ²
28	既存トイレ	40 m ² (既存施設)	屋外 2 か所	
29	仮設トイレ		男女各 3 便房 (仮設)	
30	タクシー・シャトルバス待合所		19.44 m ²	19.44 m ²
31	輸送交通本部	9.72 m ²		19.44 m ²
32	消防防災本部	9.72 m ²		19.44 m ²
33	駐車場係員控所		9.72 m ²	19.44 m ²
34	部材倉庫	19.44 m ² ×4		
35	喫煙所	9.72 m ²	9.72 m ²	19.44 m ²
36	チーム駐車場	27 台	バス 5 台+バス 4 台	
37	駐車証掲示車両駐車場	63 台		
38	一般駐車場		90 台+125 台	

◆卓球競技場

No.	機能	先催地 D	先催地 E
1	競技役員・来賓席（屋内）	長机×4 椅子×12 (22 m ²)	長机×5 椅子×15 (16 m ²)
2	放送・進行席（屋内）	長机×2 椅子×6 (14 m ²)	長机×2 椅子×4 (7 m ²)
3	救護席（屋内）	長机×1 椅子×3 (5 m ²)	長机×1 椅子×2 (6 m ²)
4	審判員席（屋内）	椅子×16 (8 m ²)	椅子×36 (27 m ²)
5	報道員・視察員席（屋内）	椅子×12 (14 m ²)	長机×4 椅子×12 (14 m ²)
6	ラケットコントロール室（屋内）	長机×4 椅子×8+4 (30 m ²)	長机×4 椅子×8+4 (31 m ²)
7	オーダー交換所（屋内）	長机×6 椅子×48 (76 m ²)	長机×6 椅子×48 (95 m ²)
8	選球所（屋内）	26 m ²	1
9	ラバー貼替所（屋内）	長机×1 椅子×2 (5 m ²)	長机×1 椅子×2 (23 m ²)（弁当引換所と併用）
10	選手集合所（屋内）	長机×12 椅子×96 (166 m ²)	長机×12 椅子×168 (234 m ²)
11	ウォーミングアップスペース（屋内）	151 m ²	
12	競技本部（屋内）	長机×6 椅子×18 (28 m ²)	長机×6 椅子×18 (23 m ²)
13	記録本部（屋内）	長机×12 椅子×48 (55 m ²)	長机×6 椅子×18 (23 m ²)
14	競技役員控室（屋内）	長机×6 椅子×18 (27 m ²)	長机×6 椅子×18 (23 m ²)
15	審判員控室（屋内）	長机×6 椅子×18 (58 m ²)	33 m ²
16	来賓控室（屋内）	長机×4 椅子×12 (30 m ²)	69 m ²
17	実施本部（屋内）	長机×6 椅子×18 (25 m ²)	長机×6 椅子×18 (140 m ²)
18	救護室（屋内）	16 m ²	27 m ²
19	報道員・視察員控室（屋内）	長机×2 椅子×4 (13 m ²)	
20	競技補助員控室（屋内）	長机×8 椅子×24 (30 m ²)	71 m ²
21	競技会係員控室	長机×2 椅子×6 (24 m ²)	
22	ボランティア控室	長机×8 椅子×24 30 m ²	
23	選手更衣室（男）	35 m ²	37 m ²
24	選手更衣室（女）	36 m ²	37 m ²
25	ドリンクコーナー	長机×2 椅子×4 (11 m ²)	長机×2 椅子×4 (10 m ²)
26	インタビューコーナー	1	1
27	記録速報所		1
28	成績掲示板	1	1
29	競技団体（選手・監督）受付	長机×2 椅子×4 (8 m ²)	(3.6×2.7) ×2
30	行政（来賓・報道・視察）受付	長机×2 椅子×4 (8 m ²)	
31	競技役員・来賓受付		長机×2 椅子×4 (5 m ²)
32	報道員・視察員受付		長机×2 椅子×4 (5 m ²)
33	カームダウンスペース	4.8 m ²	
34	一般観客席	1,216 席	258 席
35	福祉席		3 席（車いす席）
36	選手・関係者席		258 席
37	授乳室	4.2 m ²	

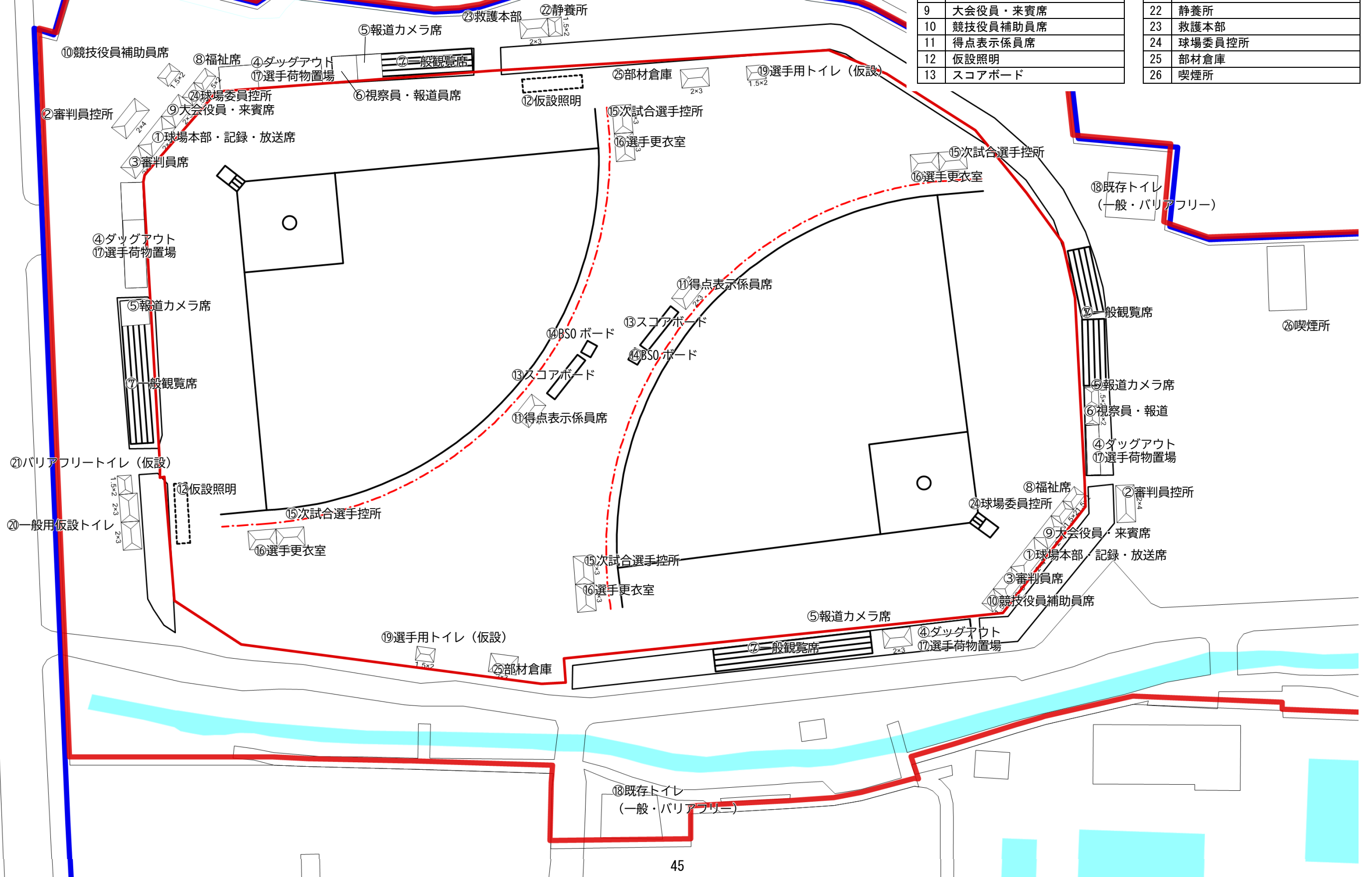
◆卓球競技場外

No.	機能	先催地 D	先催地 E
1	案内所（屋外）	(3.6×2.7) おもてなしコーナー兼	
2	一般休憩所（屋外）	(5.4×3.6) ×2	
3	売店（屋外）	(3.6×2.7) ×9 キッチンカー3	
4	おもてなしコーナー（屋外）	(3.6×2.7) 案内所兼	
5	エコステーション（屋外）	(5.4×3.6) ×1	
6	輸送交通本部（屋外）	(5.4×3.6) ×1	
7	駐車場係控所（屋外）	(3.6×2.7) ×1	
8	ごみ集積所（屋外）	1	
9	喫煙所（屋外）	(3.6×2.7) ×1	
10	シャトルバス乗降所	1	
11	タクシー・おのりやす乗降所	1	
12	仮設トイレ（屋外）	男（小便房 3、洋便 2）女（洋便 5）	
13	弁当引換所		長机×2 椅子×4 23 m ² （ラバー貼替所と併用）
14	一般来場者受付		長机×2 椅子×4 (5 m ²)
15	プログラム販売所		長机×1 椅子×2 (3 m ²)
16	トイレ（男）A（屋内）	洋便 2、和式 1、小便 6	洋便 2
17	トイレ（女）A（屋内）	洋便 7、和式 1	洋便 3
18	トイレ（男）B（屋内）	洋便 2、和式 1、小便 5	洋便 2 小便 5
19	トイレ（女）B（屋内）	洋便 7、和式 1	洋便 3
20	トイレ（男）C（屋内）		洋便 1 和式 1 小便 4
21	トイレ（女）C（屋内）		洋便 4 和式 1
22	トイレ（男）D（屋内）		洋便 3 和式 1 小便 8
23	トイレ（女）D（屋内）		洋便 8 和式 1
24	トイレ（男女兼用）（屋内）	洋便 4	2
25	多目的トイレ（屋内）	1	2

②競技場配置モデル案

先催地の国スポ開催時の施設・機能配置状況を踏まえ、国スポ等の開催を想定したモデル配置の検討を行う。

◆ソフトボール競技場配置モデル案



	機能
1	球場本部・記録・放送席
2	審判員控所
3	審判員席
4	ダッグアウト
5	報道カメラ席
6	視察員・報道員席
7	一般観覧席
8	福祉席
9	大会役員・来賓席
10	競技役員補助員席
11	得点表示係員席
12	仮設照明
13	スコアボード

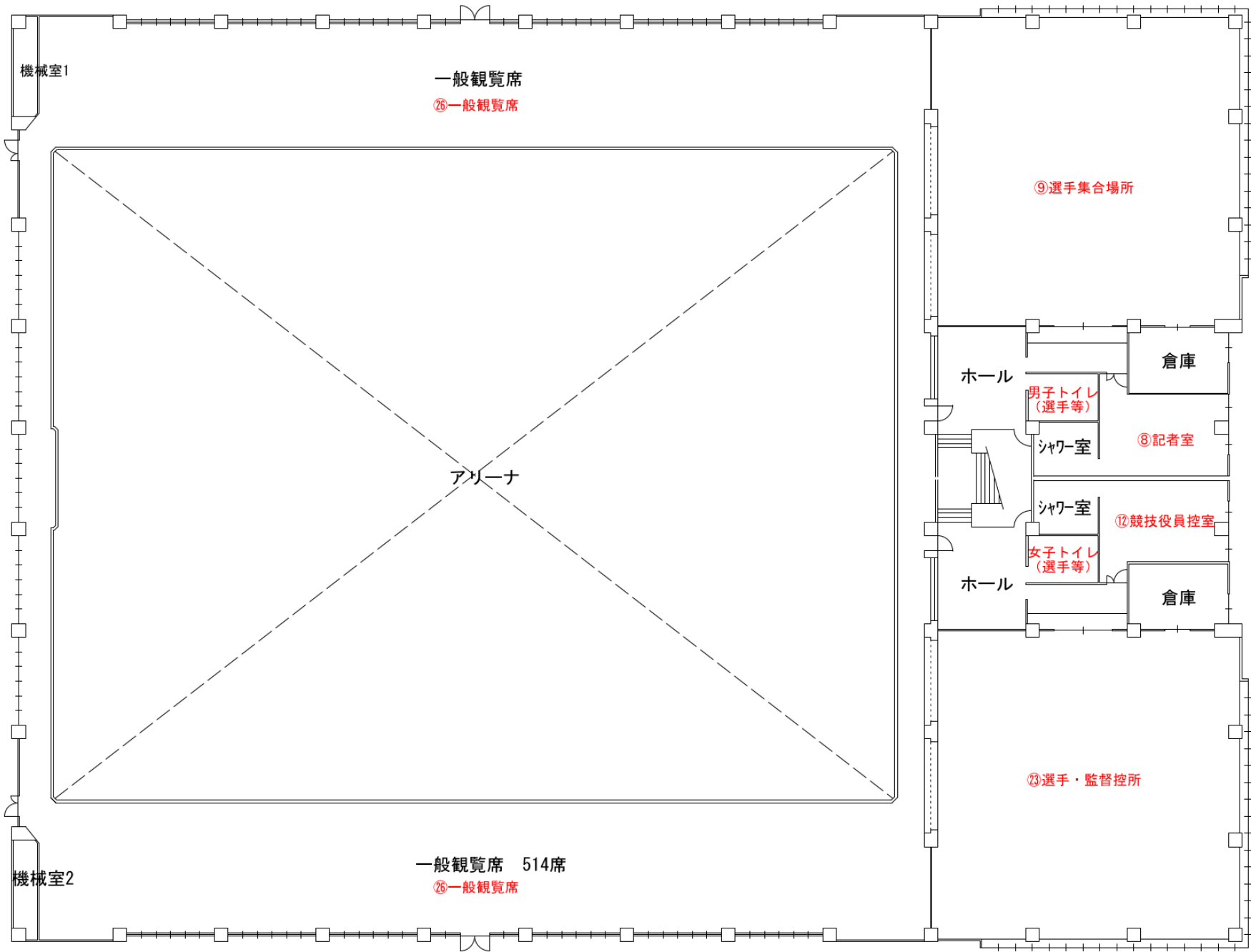
14	BSO ボード
15	次試合選手控所
16	選手更衣室
17	選手荷物置場（1 塁側 3 塁側）
18	既存トイレ（屋外）
19	選手用トイレ（仮設）
20	一般用仮設トイレ（仮設）
21	バリアフリートイレ（仮設）
22	静養所
23	救護本部
24	球場委員控所
25	部材倉庫
26	喫煙所

◆卓球競技場配置モデル案（1階）



国スポ時
総合体育館 1階平面図

◆卓球競技場配置モデル案（2階）



第8章 事業の進め方検討

(1) 事業手法の検討

一般的に施設改修で行われる事業方式を以下に整理した。

事業方式	概要	メリット	デメリット
従来方式／公設 公営 (設計委託＋工事 請負＋公共直 営)	公共が自ら資金調達する。 設計・建設は公共がそれぞれ分離発注する。 維持管理・運営も公共が直営する。 施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。	段階ごとの見直しが可能	各フェーズにおける民間事業者のノウハウが期待しにくい
DB方式 (設計施工一括 発注＋公共直 営)	公共が自ら資金調達する。 設計・建設は公共が一括発注する。 維持管理・運営は公共が直営する。 施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。	民間事業者のノウハウが一定期待できる PFI法に拠らずに発注が可能	財政負担は従来手法と同じく、フェーズごとの支払いとなる 維持管理・運営についての民間事業者のノウハウが期待しにくい
R0方式	民間事業者が自らの資金で施設を改修し、そのまま維持管理・運営を行う。	初期投資の抑制 行政負担の軽減 民間の創意工夫活用	民間事業者のリスク大 発注前の調整の難度が高い

※D：設計、B：建設、R：改修、0：維持管理・運営

本事業は、令和13年（2031）年に開催される国スポ等の、前年のリハーサル大会までに整備工事を完了させる必要がある。上記のDB、R0方式は、一定の条件下では優れた効果を持つ手法ではあるが、本事業のように期間に制約がある場合は、導入可能性調査やアドバイザー業務といった発注準備の期間を短縮できる従来手法が望ましいと考えられる。

(2) 事業スケジュールの検討

本事業では、事業手法として従来方式が望ましいと考えられるため、国スポ等開催までの事業スケジュールは、現時点で以下の通りに想定する。なお、事業スケジュールは今後協議・検討の進捗に応じ、適宜見直していくことが望ましい。

年	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032
公園全体	基本 構想	基本 設計	実施設計	整備工事	リ ハ ー サ ル 大 会 開 催	国 ス ポ 等 開 催	
運動場	基本 構想	基本 設計	実施設計	整備工事			
総合体育館	基本 構想	基本 設計	実施設計	整備工事			